

平成8年度〔第08-K3000-01号〕二級河川巴川
（麻機遊水地）河川改良に伴う生物調査業務委託

報 告 書

平成 9 年 1 月

静岡県静岡土木事務所
昭和設計株式会社

水温が高い（夏・30℃前後）

目 次

	頁
はじめに	
現地調査範囲位置図	1
1. 巴川・遊水地の概要	2
2. 浅畑沼の形成と変遷	3
3. 作業フロー	12
4. 魚介類調査編	13
(1) 現地調査計画	14
(2) 事前調査	20
① 既存文献リスト	
・ 「多自然型川づくりの取り組み」	
・ 静岡県自然環境基本調査 淡水魚類調査報告書	
② 魚介類聞き取り調査	27
(3) 魚介類現地調査資料	28
① 第1回(8月12日)調査	
② 第2回(9月25日)調査	70
③ 現地調査のまとめ	116
・ 魚介類調査結果総括図	117
(4) まとめ	118
① 現地調査の概要	119
② 聞き取り調査のまとめ	121
③ 現地調査結果の概要	122
④ 調査成果の評価	123
5. 植物調査編	124
(1) 現地調査計画	125
(2) 事前調査	132
① 既存文献リスト	133
・ 麻機遊水地の主な湿性植物 (平成8年7月 植物研究会会員の現地確認調査資料)	134
・ 特定種のリストアップ図	138
・ 概略植生区分図	139
② 聞き取り調査	140
(3) 植物調査資料	141
① 植生調査	
・ 植生分布調査図	142
・ 植生図	143
② 植物相(フロラ)調査	144
・ 第1回調査(8月10日、19日、21日)	

	頁
・ 第2回調査(10月6日)	156
③ コドラートによる組成調査	168
・ 第1回(8月21日)	
・ 第2回(10月10日)	175
④ 植生断面調査	182
・ A~A'断面	183
・ B~B'断面	186
・ C~C'断面	188
・ D~D'断面	190
⑤ 特定種調査	192
(他の場所では少なくなっている植物)	
・ 特定種総括表	193
・ 特定種確認位置図	194
(他の場所では少なくなっている植物)	
・ 特定種の記録	195
⑥ 植物(草本類)調査のまとめ	216
⑦ 樹木調査	225
・ 樹木総括表	226
・ 樹木位置図	227
・ 樹木調査票	228
(4) まとめ	239
① 現地調査の概要	240
② 聞き取り調査のまとめ	241
③ 現地調査結果の概要	242
④ 調査の結果	242
⑤ 調査成果の評価	245
6. 考 察	
(1) 本工区的环境	246
① 特定種	
② 浅畑川と比較	
③ 植物の敵地適応性	
(2) 遊水地環境管理のための参考事項	246
① 動植物の良好な自然環境の保全	
② 景観の創出	
(3) まとめ	247
① 生きものの環境づくり	
② 景観の創出	
7. 資料編	248
(1) 魚介類等の資料(図鑑)	249
(2) 植物特定種の資料(図鑑)	261

5. 植物調査編

(1) 現地調査計画



ミズアオイ

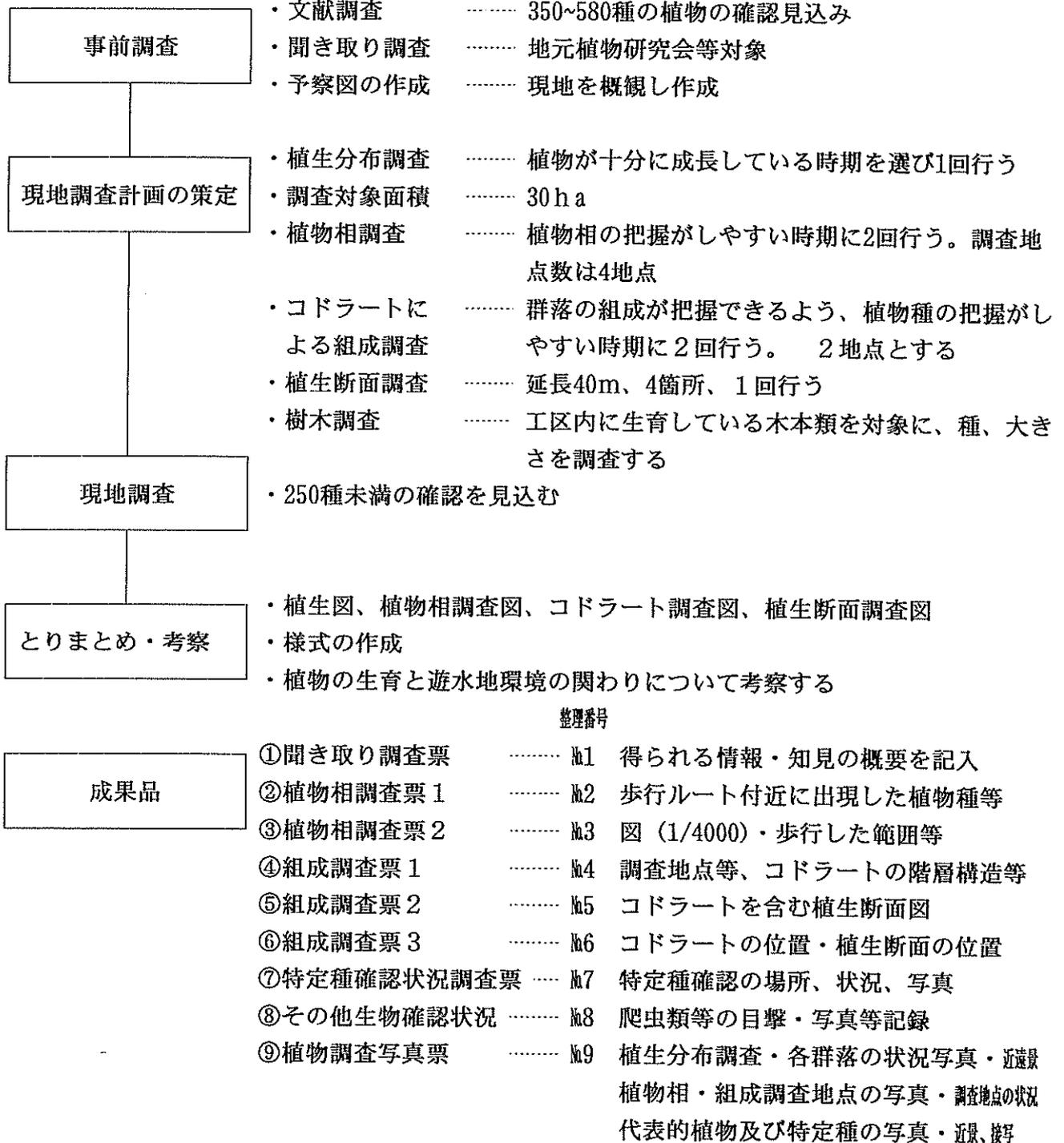
1. 目的

麻機治水緑地事業の一環として、麻機遊水地第3工区における植物の生育実態の把握を目的として実施するものである。

2. 調査区間

麻機遊水地第3工区内、現地調査対象範囲位置図に示す区域を対象とする。

3. 調査フロー



4. 与条件

(1) 植生分布調査

植物分布調査は、植生分布が把握しやすいように植物が十分に成長している時期を選んで1回行うものとする。

●調査対象区域の面積は30ha。また、延べ現地調査面積は30haである。

(2) 植物相調査

植物相調査は、現地の状況等を十分に検討し、調査対象区域の植物相の把握がしやすい時期並びに地点を選んで2回行うものとする。調査地点数は4地点とする。

(3) コドラートによる組成調査

コドラートによる組成調査は、各群落の組成が把握できるよう、植物種の把握がしやすい時期を選んで2回行うものとする。コドラートは2地点とする。

5. 調査の方法

(1) 植生分布調査

事前に作成した概略植生区分図を持って現地に行き、堤防や橋上あるいは高水敷等見通しの良い場所から眺望するとともに、随時河川内を踏査し、現況の植生分布と照合して概略植生区分図を修正する。群落の区分は現地調査時に相観及び優占種によって行う。

群落の区分や自然植生・代償植生の区分にあたっては、以下の植生区分の例を参考とするとともに、学識経験者の助言を得るようにする。

I. 自然植生	—	A: 草本植物群落	チガヤ群落、コウボウムギ群落等
		B: 低木及び高木群落	ケヤキ群落、ハンノキ群落等
II. 代償植生	—	A: 草本群落	イヌビエ群落、ススキ群落、ヨモギ・メドハギ群落、エノコログサ群落等
		B: 木本群落	アラカシ・シラカシ群落、クヌギ・コナラ群落等
III. 植林			クロマツ植林、アカマツ植林等
IV. その他			果樹園、水田等

「注」 ①自然植生: 河川の流水、潮汐、地下水位、土壌条件等の自然条件と釣りあって安定した状態にある植物群落とする。

②代償植生: 人為の影響によって自然植生が様々な植生におき変わったものとして整理する。

(2) 植物相（フロラ）調査

調査は対象範囲内を歩きながら、出現する種を目視（木本は必要に応じて双眼鏡を使う）により確認し、種名と出現状況を調査票に記録していく。調査対象種は、野性種・帰化種・逸出種・植林樹種とし、公園・耕作地などに植栽されている種は除外する。

河川においては、水分条件・冠水頻度等に応じて出現種が横断方向に変化することから、いくつかの群落を横断するように水際線から堤防までを歩行し、歩行ルート周辺に出現する植物種を記録する。また、水際部の多様な植生を確認するために、水際部についても十分な歩行距離をとる。現場で種名のわからない種については、標本として採取し、後日、詳細に調べる。

全体調査定点の区域においては、代表的な群落を含む水際（水中植物がある場合は水域を含む）堤防までの横断方向の歩行ルート付近の植生断面図をスケッチする等により作成し、各群落毎に出現した植物を記録する。

(3) コドラートによる組成調査

コドラートを設置する場所は、対象とする群落をよく観察して、その群落が典型的に発達している区域の中からできるだけ均質な場所を選定する。

群落の経年的な推移を把握するため、継続的に同じ地点で調査できるコドラートの範囲を図上に記録する。

コドラートによる組成調査はプロンプランケの方法によりコドラート内の各植物の被度・群度を記録する。

●コドラートの面積

コドラートの面積は、対象とする群落より異なる。調査する面積が広いほど出現する種類数は多くなるが、やがて一定の値に近づく。この面積増大に伴う出現種類数の増加状態を示す曲線を種類-面積曲線という。コドラートの最小面積は、種類-面積曲線の変曲点から求められるのが望ましいが、経験上、次のようなおおよその目安がある。

・高木林	(亜高木層を含む)	150~500㎡
・低木林	(下層は草本層のみ4m以下)	50~200
・ススキ草原	(高茎草原)	25~100
・シバ草原	(低茎草原)	10~ 25
・その他草原	(")	1~ 10
・耕地雑草群落		25~100

また、概略的な決め方として、群落の優占種の高さを一辺とする正方形とする方法があり、この方法は種類数の多い複雑な群落でなければ適用できる。

●生育種類の調査

コドラートの立地条件を調査したのち、コドラート内に生育する全ての種類を把握する。水中植物については、名前を調べるために標本を採取する必要もある。

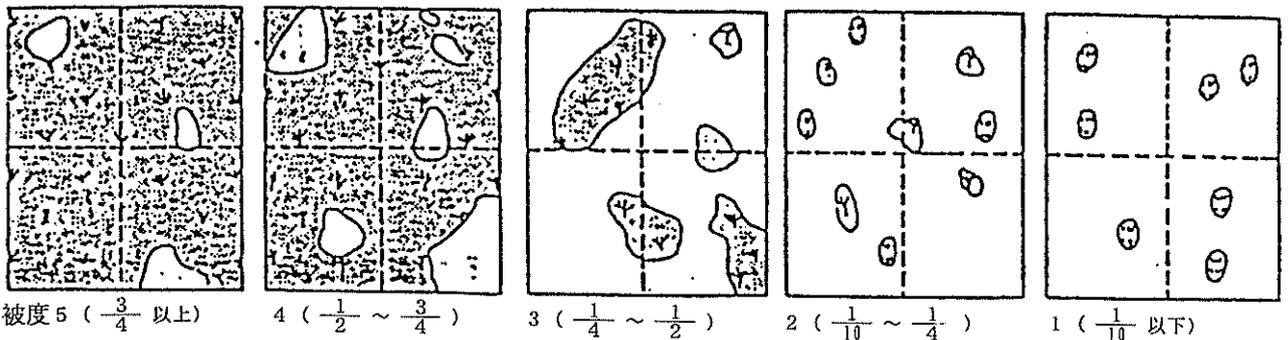
種の名前が現地で分からない植物は採取し、後日、詳しく調べる。

●被度・群度の調査

被度・群度の調査はブロンーブランケの被度・群度に従う。

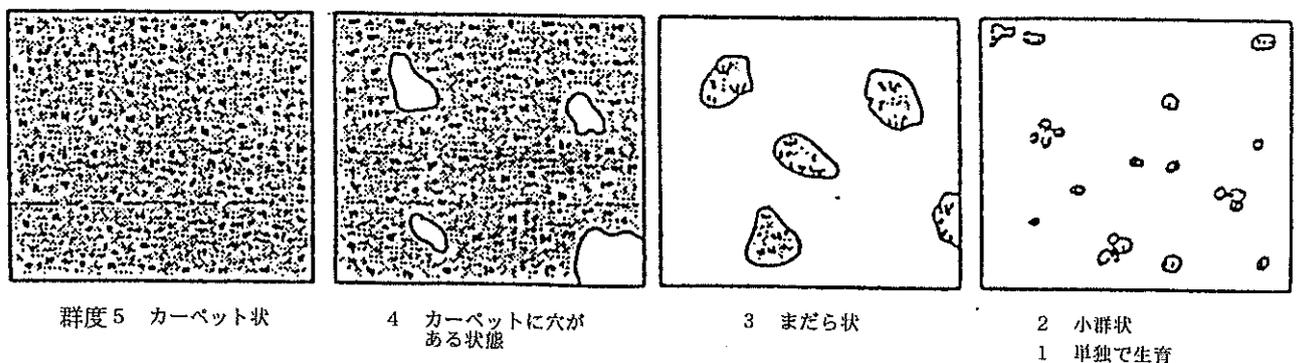
被 度

- 5：被度がコドラート面積の3/4以上を占めているもの
- 4：被度がコドラート面積の1/2~3/4を占めているもの
- 3：被度がコドラート面積の1/4~1/2を占めているもの
- 2：固体数が極めて多いか、または少なくとも被度が1/10~1/4を占めているもの
- 1：固体数は多いが被度が1/20以下、または被度が1/10以下で固体数が少ないもの
- +
- r：極めてまれに最低被度で出現するもの（+記号にまとめられることも多い）



群 度

- 5：調査区域内にカーペット状に一面に生育しているもの
- 4：大きなまだら状または、カーペット状のあちこちに穴があいているような状態のもの
- 3：小群のまだら状のもの
- 2：小群をなしているもの
- 1：単独で生えているもの



(4) 特定種の現地確認

特定種については、現地調査時（植生分布調査、植物相調査、コドラートによる組成調査）に随時確認するようにする。

特定種は写真撮影を行い、確認の状況を記録する。

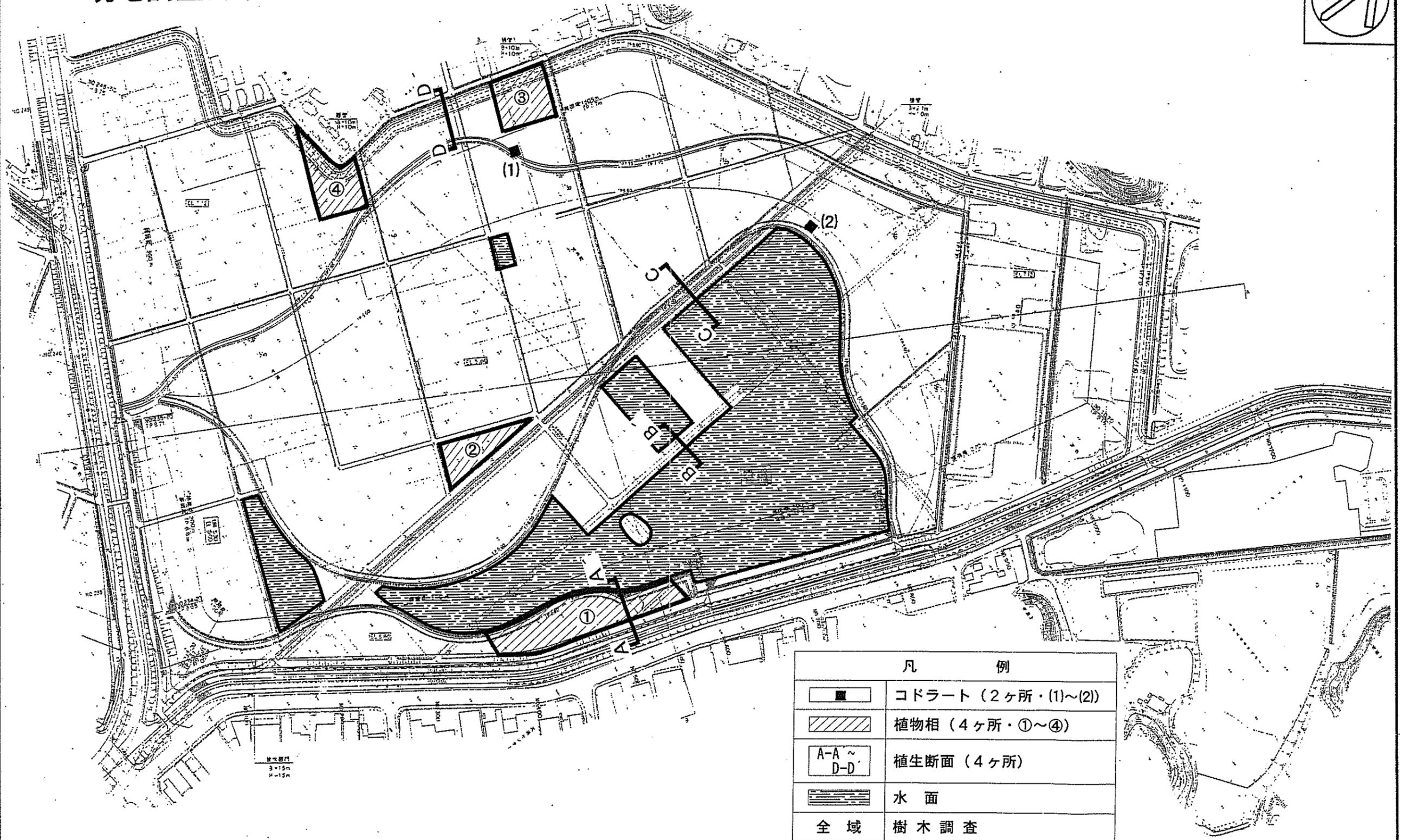
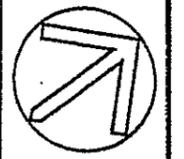
6. 調査の時期

調査項目	8/1	10	20	9/1	10	20	10/1	10	20	11/1	20
植生分布調査		—————									
植物相（フロラ）調査		—————					—————		2回		
コドラート組成調査		—————					—————		2回		
植生横断調査		—————									
標本・調査まとめ							—————				
報告書のまとめ										—————	

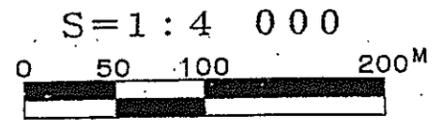
7. 調査の場所（現地調査対象範囲位置図参照）

調査の場所は、本工区及び浅畑川を対象とする。また、調査項目のうち、植生調査及び樹木調査は工区全域を対象とし、植物相（フロラ）調査、コドラート組成調査、植生断面調査は位置図の通りである。

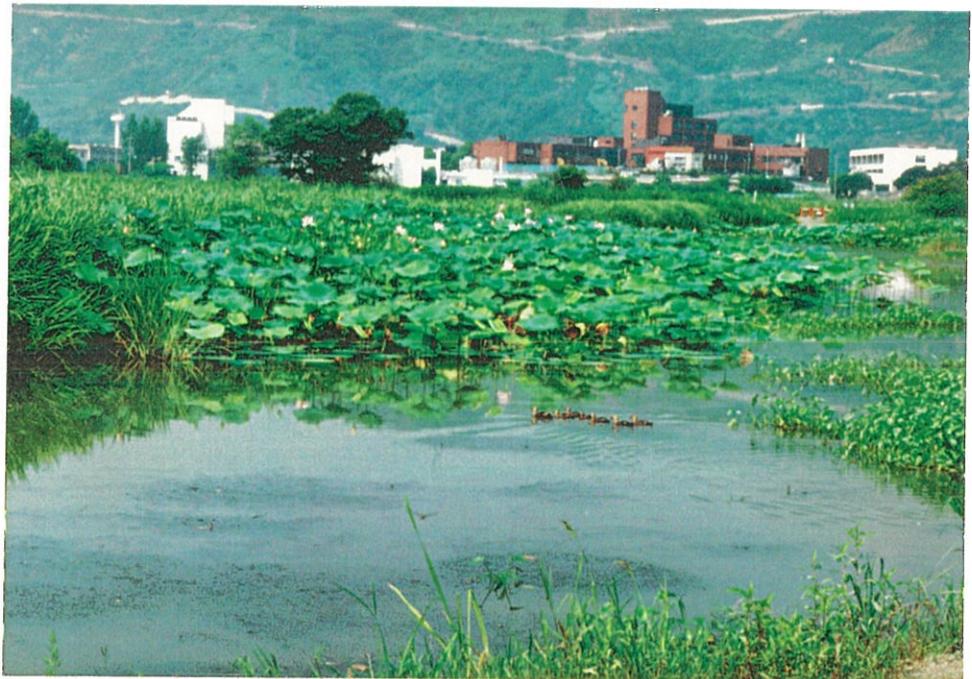
現地調査対象範囲位置図



凡 例	
	コドラート (2ヶ所・(1)~(2))
	植物相 (4ヶ所・①~④)
	植生断面 (4ヶ所)
	水面
全域	樹木調査



(2) 事前調査



①既存文献リスト

様式 2

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	平成8年度

※2 No.	文献名	調査時期 及び頻度	調査範囲	調査項目	調査方法	確認種類数				一般公表	
						全体 ※2		調査対象河川区間内 ※3		公表済	非公表
						現地確認	聞き取り・文献	現地確認	聞き取り・文献		
1	麻機遊水地の主な湿性植物 (平成8年7月静岡植物研究会提供)	平成8年7月	麻機遊水地第3工区全域	植生分布調査	目視観察	18科 33種		12科 18種			○

※1 文献・資料Noは水系全体で共通して整理する。

※2 全体とは当該文献記載分の全体であり、指定区間等の調査対象河川区間以外での確認種及び確認場所が不明の場合が含まれる。

※3 全体のうち調査対象河川区間内で確認された種数について記入する。

・麻機遊水地の主な湿性植物

平成8年7月・静岡植物研究会提供

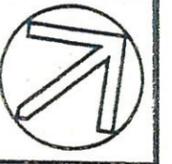
科名	種名	1年生・多年生	草丈	花の色	生育場所	花期	備考	適用
アカネ								
	ホソバノヨツバムグラ	多年草	0.2~0.5m	白色	休耕田	6~8月		点在している。
イグサ								
	イ	多年草	0.7~1m	黄緑色	休耕田	6~9月		古くから休耕田になかった所を中心に最近急に増えている。
	コウガイゼキショウ	多年草	0.2~0.4m	淡緑色	休耕田	6~7月		休耕田のヨシの無い所に多い。
	ヒロハコモチゼキショウ	多年草	0.2~0.4m	黄緑色	休耕田	6~7月		コモチゼキショウと同じ位多い。
イネ								
	オギ	多年草	1~2.5m	銀白色	湿地	8~10月		人手を加えなければアシ原になる。昔は農家にとっては大切な肥料であった。
	マコモ	多年草	1~2m	赤褐色(♂)・淡緑色(♀)	湿地	8~10月		昔は稲作も今の様に収穫できる田は少なく、マコモが多かった。
	ヨシ	多年草	2~4m	淡紫色	湿地	8~10月		人手を加えなければアシ原になる。昔は農家にとっては大切な肥料であった。
オモダカ								
	ウリカワ	多年草	0.07~0.15m	白色	休耕田	8~9月		あまり多くは見られない。

科名	種名	1年生・多年生	草丈	花の色	生育場所	花期	備考	適用
	オモダカ	多年草	0.2~0.8 m	白色	休耕田	8~10月		点在している。
ガマ								
	ガマ	多年草	1~2m	淡緑色	池沼・泥川	6~8月		コガマ、ヒメガマに比べると少ない。
	コガマ	多年草	1~1.5m	淡緑色	池沼・泥川	7~8月		休耕田が増えるに従い年毎に多くなった。
	ヒメガマ	多年草	1.5m~2m	淡緑色	池沼・泥川	6~8月		休耕田が増えるに従い年毎に多くなった。
カヤツリグサ								
	オオヌマハリイ	多年草	0.3~0.7 m	濃褐色	湿地	6~8月		4年前には休耕田に群生していたが今年は少ない。
	カサスゲ	多年草	0.3~1m	紫褐色(♂)、淡緑色(♀)	多湿地	4~7月		昔、水田や溝で栽培したものが今も残っている。
	カンガレイ	多年草	0.5~1.3 m	茶褐色	休耕田・池沼	8~10月		昔から多い植物である。
	キンガヤツリ	1年草	0.2~0.3 m	黄色	—	5~7月	絶滅危急種	今は探しても見られない。
	クログワイ	多年草	0.4~0.7 m	白色	休耕田	9~10月		休耕田の内の1ヶ所だけに集中している。
	サンカクイ	多年草	0.5~1m	茶褐色	湿地	7~10月		少ないが所々に群生。

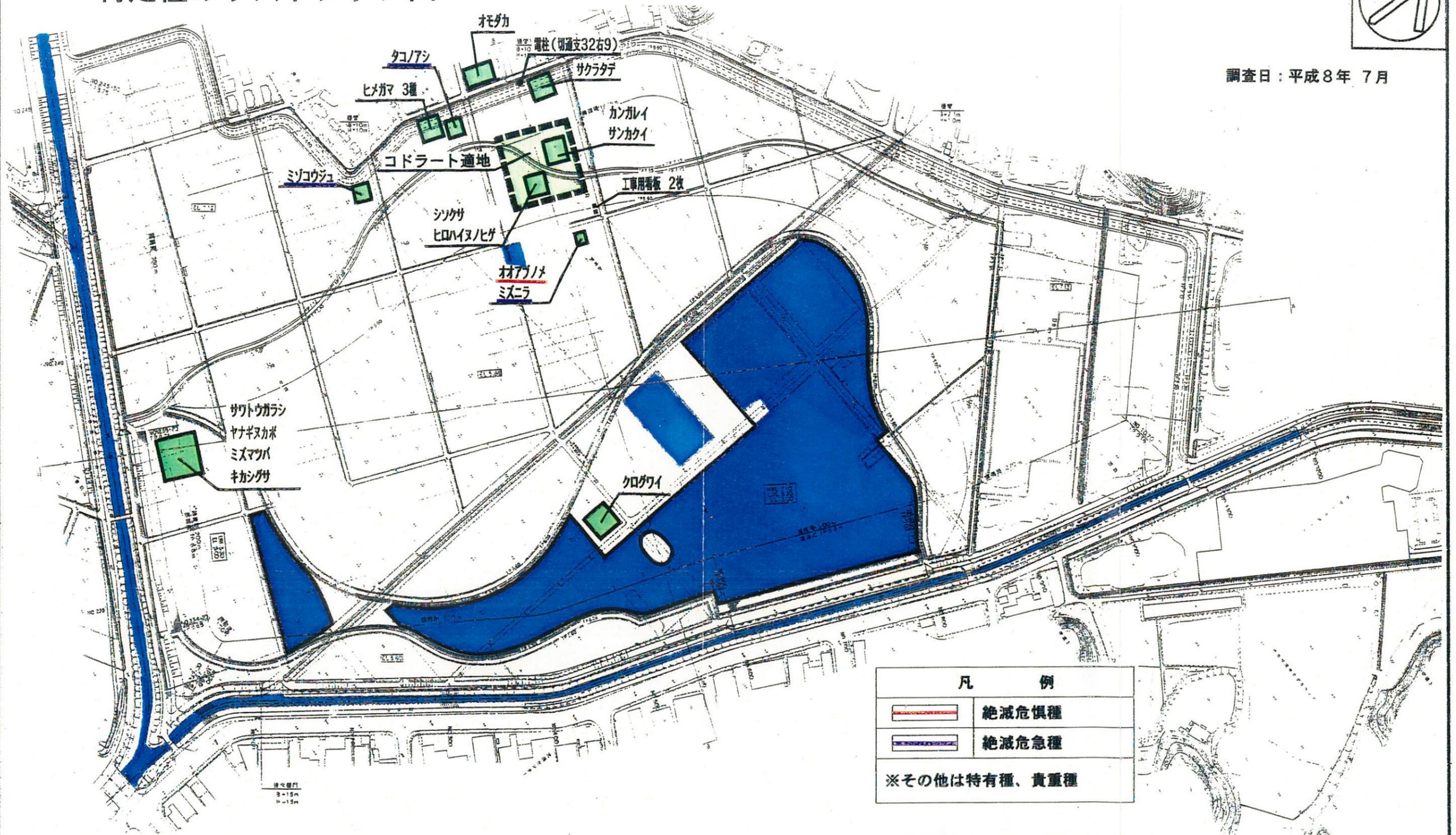
科名	種名	1年生・多年生	草丈	花の色	生育場所	花期	備考	適用
ゴマノハグサ								
	オオアブノメ	1年草	0.07~0.1m	(淡紫色)白色	休耕田	5~6月	絶滅危惧種	4年前に6株確認した(花は白)が以来見つかっていない。
	キクモ	多年草	0.1~0.2m	紅紫色	休耕田・水中	8~10月		よく探せばまだ見つかる。
サトイモ								
	ショウブ	多年草	0.5~0.8m	淡黄緑色	池沼・水中	5~8月		浅畑川の縁に多かったが改修されたため少なくなった。
シソ								
	ミズネコノオ	1年草	0.2~0.3m	淡紅色	休耕田	8~9月	絶滅危急種	1990年9月に1株見つかったが以後発見できない。
	ミゾコウジュ	2年草	0.3~0.6m	(黄色)淡紫色	低地の湿った草地・畦	5~6月	絶滅危急種	花期には、一面薄紫色の事も度々あったが今は少なくなった。
タデ								
	サクラタデ	多年草	0.5~0.7m	淡紅色	休耕田	9~10月		所々に群生。
ベンケイソウ								
	アズマツメクサ	1年草	0.02~0.06m	白色	休耕田	5~6月		わりあい小さな草で探しにくい。
ホシクサ								
	ヒロハイヌヒゲ	1年草	0.09~0.17m	淡褐色	休耕田	9~10月		コウガイゼキショウの生えるような所に点在している。

科名	種名	1年生・多年生	草丈	花の色	生育場所	花期	備考	適用
ミズアオイ								
	コナギ	1年草	0.15~0.3m	青紫色	休耕田	9~10月		昔は稲作にとっては大害草だったが農薬の使用で減り、休耕田で少し見られる。
	ミズアオイ	1年草	0.3~0.5m	青紫色	休耕田・池沼	9~10月	絶滅危急種	休耕田に多かったものが少なくなり池沼に多くなった。
ミズニラ								
	ミズニラ	多年草	0.1~0.15m	大胞子(白)・小胞子(褐)	休耕田	8~10月	絶滅危急種	3年前までは所々で群生していたが見つからなくなった。
ミズワラビ								
	ミズワラビ	1年草	0.1~0.3m	胞子茶褐色	休耕田・水中	9~10月		水中や肥えた所のものは大きい。
ミソハギ								
	ミズマツバ	1年草	0.5~0.1m	淡紅色	休耕田	8~10月		小さくて見つけにくいが気をつけて探せばかなりある。
ミソハコベ								
	イヌミソハコベ	1年草	0.5m	淡紅色	休耕田・水中	7~8月		わりあい小さな草で探しにくい。
ユキノシタ								
	タコノアシ	多年草	0.5~1m	黄緑色	休耕田	8~10月	絶滅危急種	多年草であるにも関わらず、年によって多く見られたり少なかったり不思議である。
合計	18科33種							

特定種のリストアップ図



調査日：平成8年 7月



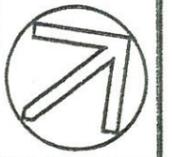
聞き取りの相手：〈植物研究会会員〉

- ・尾上 元 氏
- ・前島 固女 氏
- ・平野 時子 氏
- ・松村 きみ 氏

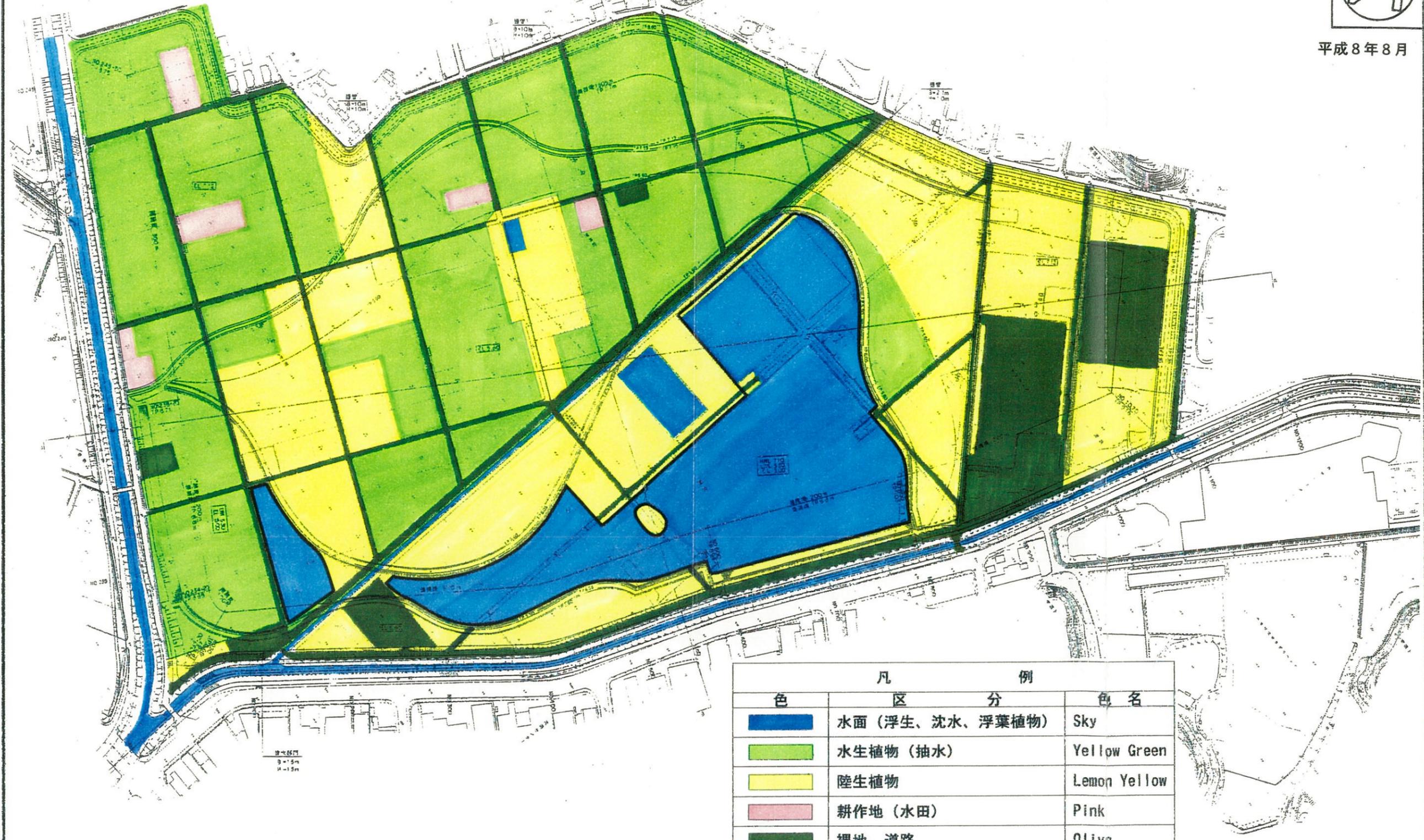
S=1:4 000

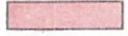


概略植生区分图

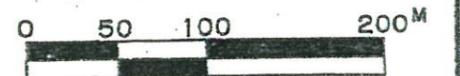


平成8年8月



色	凡 例	色 名
	水面 (浮生、沈水、浮葉植物)	Sky
	水生植物 (抽水)	Yellow Green
	陸生植物	Lemon Yellow
	耕作地 (水田)	Pink
	裸地、道路	Olive

S=1:4 000



②植物聞き取り調査

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	平成8年度

聞き取りの相手		聞き取り担当者	
氏名：前島 固女 所属：静岡植物研究会		氏名：鈴木 和喜	
連絡先	住所：[REDACTED]	所属：昭和設計(株)	
	Tel：[REDACTED]	Tel：[REDACTED]	

聞き取り日時： 11月13日 16時00分～17時00分

聞き取りの場所：静岡市緑町10-30 たちばな会館

得られた情報・知見の概要

< 遊水地及び周辺の変遷 >

北部土地改良事業に着手した昭和35年頃までは、マコモ、ヨシ、ネコヤナギ、ソダが一面に生育し、所々に水面が見られる状況で、景観は尾瀬沼や釧路湿原のようであった。そして、この頃までは度々の洪水で水稻が実らず10年1作とも言われた。

昭和44年に耕地整理が完成したが、巴川沿いの牛田地先では米の収穫が多く、諏訪地区では収穫が少ない状況にあった。

昭和55年から多目的遊水地として用地買収が開始され、次第に休耕田が多くなり、放置された田床には、湿性植物の復元がみられ、植物の多様性が生まれた。

植物に関心を持っていた前島氏は、遊水地周辺が埋め立てられて行くのを見て、遊水地も将来埋め立てられ湿性植物が消滅して行く事を危惧し、本工区での植物の観察を続け、やがて植物研究会も合流し、現在も観察活動を続けている。

昭和60年から平成8年まで観察した植物は、約400種になっている。

不思議な現象として、昨年大発生した植物が本年は全く見られない事や、本工区でも例外なく外来種の生育が年々多くなっている。

参 考

平成5年度に実施された第4工区の調査「二級河川巴川調査設計業務委託・麻機多目的遊水地(第4工区整備計画)」によれば、32科95種(調査12月～1月実施)が確認されている。

(3) 植物調査資料

①植生調査



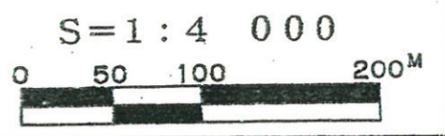
植生分布調査図



平成8年8月～10月



凡 例		
植生区分 色	代 償 植 生 区 分	色 名
	水面・水中植物(葦、荻、藻類)	Sky
	草本植物・水生(抽水)	Yellow Green
	草本植物・陸生	Lemon Yellow
	耕作地(水田)	Pink
	人工裸地、(瀧、グラウンド等)	Olive
	木本植物(群落、雑木林)	
	" (単植、列植)	



②植物相（フロラ）調査

第1回調査（8月10日、19日、21日）



コツブヌマハリイ

植物相調査票 1

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査地点番号	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	①	平成8年度

調査地点名： 植物相調査①ポイント	km～	km	左岸・右岸
調査日： 平成8年8月19日	調査員： 前島 固女、平野 時子	所属： 静岡植物研究会	

種名	備考	出現状況
アカバナユウゲショウ		
アカメガシワ(落葉高木)		*
アカメヤナギ(落葉高木)		*
アキノエノコログサ	実有り	
アキノノゲシ		
アゼスゲ		
アメリカセンダングサ		
アレチギシギシ		
アレチヌスビトハギ	花有り	
アレチハナガサ	花有り	
イシミカワ	実有り	
イタドリ		
イヌガラシ	花、実有り	
イヌタデ		
イヌホオズキ	実有り	
エノキ(落葉高木)		*
オオアレチノギク	花有り	
オオイヌノフグリ	苗	
オオニシキソウ	花有り	
オオバコ	花有り	
オオフサモ		
オギ		***
オニノゲシ	花有り	
オヒシバ	実有り	
オヘビイチゴ		

種名	備考	出現状況
カサスゲ		
カゼクサ		
カタバミ	花有り	
カモジグサ	枯れている	
カラスウリ	花有り	
カワヤナギ(落葉高木)		*
ギシギシ	実有り	
キシュウスズメノヒエ		
キンエノコロ	実有り	
クサネム	花有り	
クサヨシ	枯れている	
クズ	花有り	***
クワイ		
ケキツネノボタン	実有り	
コセンダングサ		
サクラタデ		
シバ		
シマスズメノヒエ	実有り	
ジュズダマ	実有り	
シロツメクサ	花有り	
スカシタゴボウ		
スギナ		
セイタカアワダチソウ		***
セイヨウカラシナ		
セリ	花有り	

備考欄は、花、実の有無、成長段階を記入

出現状況は、現場での判断により、調査ルート内における植物種の出現状況を記入する。

- [例]
- *** …… 調査ルート内で広範囲に確認された。
 - ** …… 調査ルート内で所々で確認された。
 - * …… 調査ルート内で数本(株)確認された。

植物調査写真票

調査日
平成8年 8月19日

No. ①ポイント

写真標題

植物相調査
(1回目)

説 明

現地調査状況



植物相調査票 1

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査地点番号	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	②	平成8年度

調査地点名：植物相調査②ポイント	km～	km	左岸・右岸
調査日：平成8年8月19日	調査員：前島 固女、平野 時子	所属：静岡植物研究会	

種名	備考	出現状況
アカバナユウゲショウ		
アカメガシワ(落葉高木)		*
アキノウナギツカミ		
アキノエノコログサ	実有り	
アキノノゲシ		
アシカキ		
アゼスゲ		
アメリカセンダングサ		
アレチギシギシ		
アレチヌスビトハギ	花有り	
アレチハナガサ	花有り	
イ	花有り	
イシミカワ		
ウシノシッペイ	実有り	
エノキグサ		
オオイヌタデ	花有り	
オオニシキソウ	花有り	*
オオバコ	花有り	
オギノツメ		***
オヘビイチゴ		
カタバミ	花有り	
カナムグラ		***
カモジグサ	枯れている	
カラスウリ	花有り	***
カンガレイ	花有り	

種名	備考	出現状況
ギシギシ	実有り	
キシュウスズメノヒエ		
キンエノコロ	実有り	
クサイチゴ		
クサヨシ	枯れている	
サデクサ		
シマスズメノヒエ	実有り	
ジャノヒゲ		
ジュズスゲ		
ジュズダマ	実有り	
スカシタゴボウ		
セイタカアワダチソウ		***
セイヨウカラシナ		
セリ	花有り	
センニンソウ	花有り	
タカイ	花有り	*
タコノアシ		***
チガヤ		
チゴザサ	実有り	
ツユクサ	花有り	
ナンキンハゼ(落葉高木)		*
ニガカシュウ		
ノチドメ		
ハッカ		*
ハルノノゲシ	花有り	

備考欄は、花、実の有無、成長段階を記入

出現状況は、現場での判断により、調査ルート内における植物種の出現状況を記入する。

- [例] *** …… 調査ルート内で広範囲に確認された。
 ** …… 調査ルート内で所々で確認された。
 * …… 調査ルート内で数本(株)確認された。

植物調査写真票

調査日
平成8年8月19日

No. ②ポイント

説 明

現地調査状況



植物相調査票 1

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査地点番号	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	③	平成8年度

調査地点名：植物相調査③ポイント	km～	km	左岸・右岸
調査日：平成8年8月21日	調査員：前島 固女、平野 時子	所属：静岡植物研究会	

種名	備考	出現状況
アカバナ		
アシカキ		***
アゼスゲ		
アゼナルコ		
アメリカセンダングサ		
アレチギシギシ		
アレチヌスビトハギ	花有り	
イ	花有り	
イボクサ		
ウシノシッペイ	実有り	
オオアレチノギク		
オガルカヤ		
オギノツメ		
オヘビイチゴ		
オモダカ	花有り	
カサスゲ		
カンガレイ	花有り	
ギシギシ	実有り	
キシウスズメノヒエ		
クサネム	花有り	***
ケイヌビエ	実有り	
ケキツネノボタン	花有り	
コガマ	実有り	
コブナグサ		
サンカクイ	花有り	

種名	備考	出現状況
ジュズダマ	実有り	
スズメノヒエ	実有り	
セイタカアワダチソウ		***
セリ		
タコノアシ		**
チガヤ		
チゴザサ	実有り	***
ツルマメ		
ニガナ	花有り	
ノチドメ		
ヒメガマ	実有り	***
ヒメジソ		
ヒメムカシヨモギ	花有り	
ヒロハホウキギク		
ホソバノウナギツカミ	花有り	
ホソバノヨツバムグラ	花有り	
ミゾソバ		
ヤナギタデ		
ヤノネグサ		**
ヤブマメ		
ヨシ		
ヨメナ	花有り	

備考欄は、花、実の有無、成長段階を記入

出現状況は、現場での判断により、調査ルート内における植物種の出現状況を記入する。

- [例]
- *** …… 調査ルート内で広範囲に確認された。
 - ** …… 調査ルート内で所々で確認された。
 - * …… 調査ルート内で数本(株)確認された。

植物調査写真票

調査日
平成8年 8月21日

No. ③ポイント

説 明

現地調査状況



植物相調査票 1

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査地点番号	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	④	平成8年度

調査地点名： 植物相調査④ポイント	km～	km	左岸・右岸
調査日：平成8年8月10日	調査員：前島 固女、平野 時子	所属：静岡植物研究会	

種名	備考	出現状況
アイダクグ	花有り	
アカメヤナギ(落葉高木)		*
アキノエノコログサ	実有り	
アキノノゲシ		
アキメヒシバ	実有り	
アメリカセンダングサ		***
アレチギシギシ		
アレチヌスビトハギ	花有り	
イ	花有り	
イヌビエ	実有り	
エノキグサ		
オオアレチノギク	花有り	
オオイヌタデ	花有り	*
オオクサキビ	実有り	
オオジシバリ		**
オオブタクサ		
オギ		
オニノゲシ		
オヘビイチゴ		**
カズノコグサ	枯れている	
カゼクサ		
カタバミ	花有り	
ギシギシ	実有り	
キシュウスズメノヒエ		**
キツネノマゴ		

種名	備考	出現状況
キヌシバ		
キンエノコロ	実有り	
クサヨシ	枯れている	*
クスノキ(常緑高木)		*
ケキツネノボタン	花有り	
コウガイゼキショウ		
コゴメガヤツリ		
コゴメヤナギ(落葉高木)		*
コブナグサ		
シマスズメノヒエ	実有り	
ジュズスゲ		
ジュズダマ	実有り	*
シロツメクサ		
スカシタゴボウ		
スズメノヒエ	実有り	
セイタカアワダチソウ		***
セリ	花有り	**
センダン(落葉高木)		*
ダンドボロギク	花有り	*
チガヤ		***
チカラシバ		
ツユクサ	花有り	
テンツキ	花有り	
トウバナ		
ナガバギシギシ		

備考欄は、花、実の有無、成長段階を記入

出現状況は、現場での判断により、調査ルート内における植物種の出現状況を記入する。

- [例] *** …… 調査ルート内で広範囲に確認された。
 ** …… 調査ルート内で所々で確認された。
 * …… 調査ルート内で数本(株)確認された。

植物調査写真票

調査日
平成8年 8月10日

No. ④ポイント

説 明

現地調査状況



第2回調査（10月6日）



植物相調査票 1

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査地点番号	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	①	平成8年度

調査地点名：植物相調査①ポイント	km～	km	左岸・右岸
調査日：平成8年10月6日	調査員：前島 固女、平野 時子	所属：静岡植物研究会	

種名	備考	出現状況
アカバナユウゲショウ		
アカメガシワ(落葉高木)		*
アカメヤナギ(落葉高木)		*
アキノエノコログサ	実有り	
アキノノゲシ	花有り	
アゼガヤツリ	実有り	
アゼスゲ	苗	
アメリカセンダングサ	花、実有り	
アメリカフウロ	苗	
アレチギシギシ	枯れている	
アレチヌスビトハギ	花、実有り	
アレチハナガサ	花、実有り	
イシミカワ	実有り	
イタドリ	花有り	
イヌガラシ	花、実有り	
イヌタデ	花、実有り	
イヌホオズキ	花、実有り	
エノキ(落葉高木)		*
オオアレチノギク	花有り	
オオイヌノフグリ	苗	
オオニシキソウ	花有り	
オオバコ	花、実有り	
オオフサモ		
オギ	穂有り	***
オニノゲシ	花有り	

種名	備考	出現状況
オヒシバ	実有り	
オヘビイチゴ		
カサスゲ		
カゼクサ	実有り	
カタバミ	花、実有り	
カモジグサ	枯れている	
カラスウリ	実有り	
カワヤナギ(落葉高木)		*
ギシギシ	実有り	
キシウズズメノヒエ	実有り	
キンエノコロ	実有り	
クサネム	実有り	
クサヨシ	枯れている	
クズ	実有り	***
クワイ	花、実有り	
ケキツネノボタン	苗	
コセンダングサ	花、実有り	
サクラタデ	花有り	
シバ		
シマスズメノヒエ	実有り	
ジュズダマ	実有り	
シロツメクサ	花有り	
スカシタゴボウ	苗、花有り	
スギナ		
セイタカアワダチソウ	花有り	***

備考欄は、花、実の有無、成長段階を記入

出現状況は、現場での判断により、調査ルート内における植物種の出現状況を記入する。

- [例]
- *** …… 調査ルート内で広範囲に確認された。
 - ** …… 調査ルート内で所々で確認された。
 - * …… 調査ルート内で数本(株)確認された。

植物相調査票 1

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査地点番号	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	①	平成8年度

調査地点名：植物相調査①ポイント	km～	km	左岸・右岸
調査日：平成8年10月6日	調査員：前島 固女、平野 時子	所属：静岡植物研究会	

種名	備考	出現状況
セイヨウカラシナ	苗	
セリ	苗	
センニンソウ	実有り	
タコノアシ	花、実有り	
タチヤナギ(落葉高木)		*
チガヤ		
チカラシバ	穂有り	
チクゴスズメノヒエ	花、実有り	
ツユクサ	花、実有り	
ツルノゲイトウ	実有り	
トウバナ	花有り	
ニガカシュウ	実有り	
ニガナ	花有り	
ヌカボタデ	花有り	
ネズミムギ	枯れている	***
ネムノキ(落葉高木)		*
ノイバラ(落葉低木)		
ノチドメ	実有り	
ヒナタイノコズチ	実有り	
ヒメクグ	実有り	
ヒメジソ	花、実有り	
ヒメジョオン	花有り	
ヒメムカシヨモギ	花、実有り	
ヒルガオ	苗	
ヒロハホウキギク	花有り	

種名	備考	出現状況
ブタクサ	花有り	
ヘクソカズラ	花実有り	
ヘビイチゴ		
ホソバノヨツバムグラ	実有り	
ホソムギ	枯れている	
ホテイアオイ	花有り	*
マツバゼリ	実有り	
マメアサガオ	花、実有り	
マルバヤハズソウ	実有り	
ミズアオイ	花有り	
ミゾコウジュ	苗	
メドハギ	実有り	
メマツヨイグサ	実有り	
ヤナギタデ	花有り	
ヤブガラシ	実有り	***
ヤブマメ	実有り	
ヤマグワ(落葉高木)		*
ヤマノイモ	実有り	
ヨウシュヤマゴボウ	実有り	
ヨシ	穂有り	***
ヨメナ	花有り	
ヨモギ	実有り	

備考欄は、花、実の有無、成長段階を記入

出現状況は、現場での判断により、調査ルート内における植物種の出現状況を記入する。

[例]

*** …… 調査ルート内で広範囲に確認された。

** …… 調査ルート内で所々で確認された。

* …… 調査ルート内で数本(株)確認された。

植物調査写真票

調査日
平成8年10月6日

No. ①ポイント

写真標題

植物相調査
(2回目)

説 明

現地調査状況



植物相調査票 1

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査地点番号	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	②	平成8年度

調査地点名：植物相調査②ポイント		km～	km	左岸・右岸
調査日：平成8年10月6日	調査員：前島 固女、平野 時子	所属：静岡植物研究会		

種名	備考	出現状況	種名	備考	出現状況
アカバナユウゲショウ			ギシギシ	苗	
アカメガシワ(落葉高木)		*	キシウスズメノヒエ	花、実有り	
アキノウナギツカミ	花有り		キンエノコロ	実有り	
アキノエノコログサ	実有り		クサイチゴ	苗	
アキノノゲシ	花有り		クサヨシ	苗	
アシカキ			サデクサ	花有り	
アゼスゲ			シマスズメノヒエ	実有り	
アメリカセンダングサ	花、実有り		ジャノヒゲ	実有り	
アレチギシギシ	枯れている		ジュズスゲ	苗	
アレチヌスビトハギ	実有り		ジュズダマ	実有り	
アレチハナガサ	花、実有り		スカシタゴボウ	苗	
イ	枯れている		セイタカアワダチソウ	花有り	***
イシミカワ	実有り		セイヨウカラシナ	苗	
ウシノシッペイ	穂有り		セリ	苗	
エノキグサ	実有り		センニンソウ	実有り	
オオイヌタデ	花、実有り		タカイ	実有り	*
オオニシキソウ	花有り	*	タコノアシ	実有り	***
オオバコ	実有り		チガヤ		
オギノツメ	花、実有り	***	チゴザサ	苗	
オヘビイチゴ	苗		ツユクサ	花、実有り	
カタバミ	花、実有り		ナンキンハゼ(落葉高木)		*
カナムグラ	実有り	***	ニガカシュウ	実有り	
カモジグサ	枯れている		ノチドメ	実有り	
カラスウリ	実有り	***	ハッカ		*
カンガレイ	実有り		ハルノノゲシ	花有り	

備考欄は、花、実の有無、成長段階を記入

出現状況は、現場での判断により、調査ルート内における植物種の出現状況を記入する。

- [例]
- *** …… 調査ルート内で広範囲に確認された。
 - ** …… 調査ルート内で所々で確認された。
 - * …… 調査ルート内で数本(株)確認された。

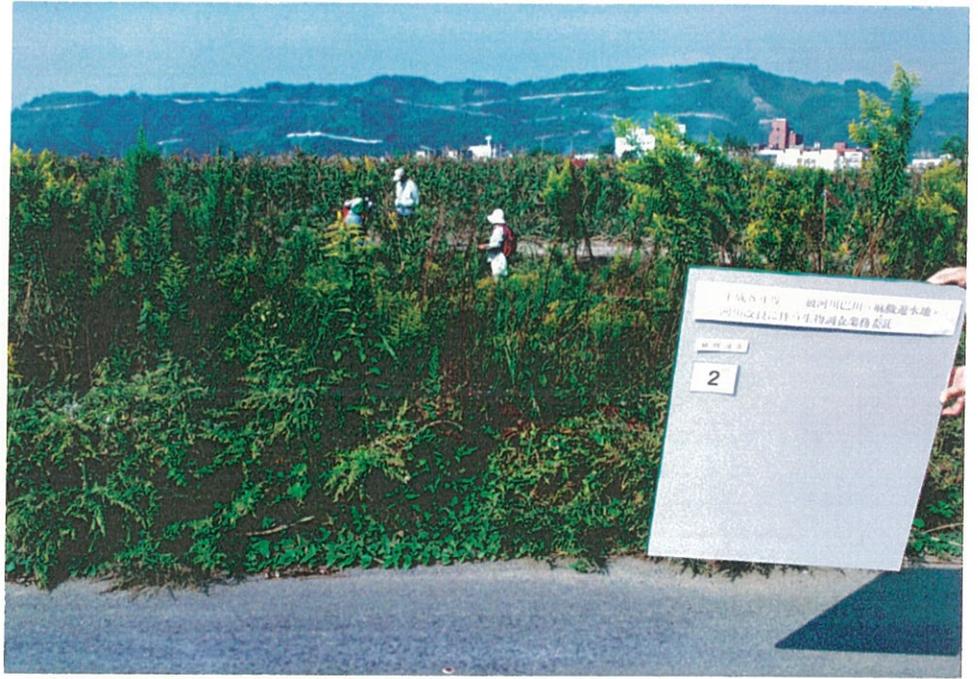
植物調査写真票

調査日
平成8年10月6日

No. ②ポイント

説 明

現地調査状況



植物相調査票 1

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査地点番号	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	③	平成8年度

調査地点名：植物相調査③ポイント		km～	km	左岸・右岸
調査日：平成8年10月6日	調査員：前島 固女、平野 時子	所属：静岡植物研究会		

種名	備考	出現状況
アカバナ	実有り	
アシカキ		***
アゼスゲ		
アゼナルコ		
アメリカセンダングサ	花、実有り	
アレチギシギシ	枯れている	
アレチヌスビトハギ	実有り	
イ	枯れている	
イボクサ	花有り	
ウシノシッペイ	実有り	
オオアレチノギク	実有り	
オギノツメ		
オヘビイチゴ		
オモダカ	花有り	
カサスゲ		
カンガレイ	花有り	
ギシギシ	実有り	
キシウスズメノヒエ		
クサネム	花有り	***
ケイヌビエ	実有り	
ケキツネノボタン	花有り	
コガマ	実有り	
コブナグサ		
サンカクイ	花有り	
ジュズダマ	実有り	

種名	備考	出現状況
スズメノヒエ	実有り	
セイタカアワダチソウ	花有り	***
セリ		
タコノアシ	実有り	**
チガヤ		
チゴザサ		***
ツルマメ	実有り	
ニガナ	花有り	
ノチドメ	実有り	
ヒメガマ	実有り	***
ヒメジソ	花有り	
ヒメムカシヨモギ	花、実有り	
ヒロハホウキギク	花、実有り	
ホソバノウナギツカミ	花有り	
ホソバノヨツバムグラ	実有り	
ミゾソバ	花有り	
ヤナギタデ	花有り	
ヤノネグサ	花有り	**
ヤブマメ	実有り	
ヨシ	実有り	
ヨメナ	花有り	

備考欄は、花、実の有無、成長段階を記入

出現状況は、現場での判断により、調査ルート内における植物種の出現状況を記入する。

[例]

*** …… 調査ルート内で広範囲に確認された。

** …… 調査ルート内で所々で確認された。

* …… 調査ルート内で数本(株)確認された。

植物調査写真票

調査日
平成8年10月6日

No. ③ポイント

説 明

現地調査状況



植物相調査票 1

県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査地点番号	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	④	平成8年度

調査地点名：植物相調査④ポイント	km～	km	左岸・右岸
調査日：平成8年10月6日	調査員：前島 固女、平野 時子	所属：静岡植物研究会	

種名	備考	出現状況
アイダクグ	実有り	
アカメヤナギ(落葉高木)		*
アキノエノコログサ	実有り	
アキノノゲシ	花有り	
アキメヒシバ	実有り	
アメリカセンダングサ	花、実有り	***
アメリカフウロ	苗	
アレチギシギシ	枯れている	
アレチヌスビトハギ	実有り	
イ	枯れている	
イヌビエ	実有り	
エノキグサ	実有り	
オオアレチノギク	実有り	
オオイヌタデ	花、実有り	*
オオクサキビ	実有り	
オオジシバリ		**
オオブタクサ		
オギ	実有り	
オニノゲシ	花有り	
オヘビイチゴ		**
カズノコグサ	枯れている	
カゼクサ	実有り	
カタバミ	花、実有り	
ギシギシ	枯れている	
キシウズズメノヒエ	花、実有り	**

種名	備考	出現状況
キツネノマゴ	花、実有り	
キヌシバ		
キンエノコロ	実有り	
クサヨシ	枯れている	*
クスノキ(常緑高木)		*
ケキツネノボタン	苗	
コウガイゼキショウ	実有り	
コゴメガヤツリ	実有り	
コゴメヤナギ(落葉高木)		*
コブナグサ	実有り	
シマスズメノヒエ	実有り	
ジュズスゲ		
ジュズダマ	実有り	*
シロツメクサ		
スカシタゴボウ	苗	
スズメノヒエ	実有り	
セイタカアワダチソウ	花、実有り	***
セリ	花有り	**
センダン(落葉高木)		*
ダンドボロギク	実有り	*
チガヤ		***
チカラシバ	実有り	
ツユクサ	花、実有り	
テンツキ	実有り	
トウバナ	花有り	

備考欄は、花、実の有無、成長段階を記入

出現状況は、現場での判断により、調査ルート内における植物種の出現状況を記入する。

- [例]
- *** …… 調査ルート内で広範囲に確認された。
 - ** …… 調査ルート内で所々で確認された。
 - * …… 調査ルート内で数本(株)確認された。

No. ④ポイント

説 明

現地調査状況



③コドレートによる組成調査

第1回調査（8月21日）



植物調査写真票

調査日
平成8年8月21日

No. 1ポイント

写真標題

組成調査
(1回目)

説明

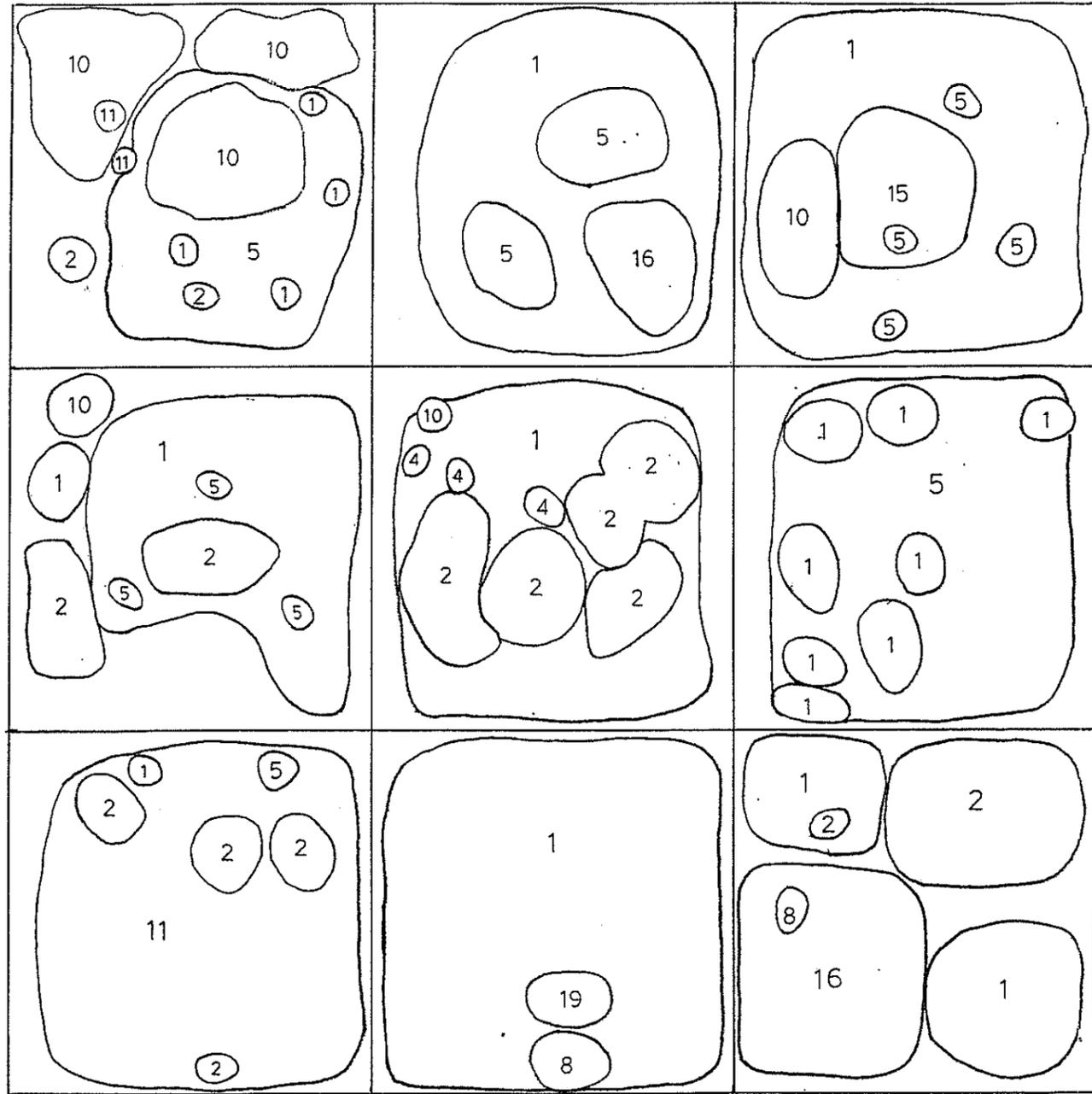
コドラートの設置

現地調査状況



コドラート調査 No. 1

I	II	III
IV	V	VI
VII	VIII	IX



※ 図中の数字は調査票のNo.

コドラートNo.1 調査票

調査日：平成8年8月21日

No.	種名	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	被度(%)	頻度(%)	群度(%)
1	ヒメガマ	4	4	4	4	4	3	4	4	3	34) 100	100	調
2	カンガレイ	1	1	+	2	4	+	2	3	4	17) 50.0	100	査
3	アシカキ	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2) 6.0	11.0	不
4	ヒロハイヌノヒゲ	1	1	-	+	2	-	-	+	-	4) 12.0	56.0	能
5	チゴザサ	4	2	3	4	1	4	-	+	-	18) 53.0	78.0	の
6	シソクサ	+	+	-	+	1	-	-	+	-	1) 3.0	56.0	為
7	アゼナ	-	-	-	+	-	-	-	-	-	0) 0	11.0	記
8	ヤノネグサ	-	+	-	-	-	-	-	1	-	1) 3.0	22.0	録
9	クサネム	+	+	+	+	+	+	+	+	+	0) 0	100	無
10	サンカクイ	4	4	2	1	+	1	-	-	-	12) 35.0	67.0	し
11	ヒロハホウキギク	+	-	+	-	+	+	+	+	1	1) 3.0	78.0	
12	イボクサ	+	-	-	+	+	-	-	-	+	0) 0	44.0	
13	ケキツネノボタン	+	-	-	+	-	-	+	+	-	0) 0	44.0	
14	コウガイゼキショウ	+	+	-	-	-	+	-	+	-	0) 0	44.0	
15	アゼスゲ	+	+	2	-	-	-	-	-	-	2) 6.0	33.0	
16	ホソバノウナギツカミ	+	3	+	-	+	1	-	+	3	7) 21.0	78.0	
17	コツブヌマハリイ	-	+	-	-	-	-	-	1	-	0) 0	22.0	
18	ノチドメ	-	+	-	-	+	-	-	-	-	0) 0	22.0	
19	ヒナガヤツリ	-	-	-	-	+	-	-	-	-	0) 0	11.0	
20	ヒデリコ	-	-	-	-	+	-	-	-	-	0) 0	11.0	
21	アメリカアゼナ	-	-	-	+	+	-	-	+	-	0) 0	33.0	
22	アゼトウガラシ	-	-	-	-	+	-	-	-	-	0) 0	11.0	
23	テンツキ	-	-	-	-	+	-	-	-	-	0) 0	11.0	
24	ケイヌビユ	-	-	-	-	+	-	-	-	-	0) 0	11.0	
25	アイダクグ	-	-	-	+	-	-	-	-	-	0) 0	11.0	
26	ウスゲチヨウジタデ	-	-	-	+	-	-	-	-	-	0) 0	11.0	
合計		26種	13種	13種	8種	13種	17種	8種	5種	13種	7種		

※ 上票の数字は、個体数は確認したが、草丈が低いものや芽生えの為、図には記入していない。また、被度が+しかないものについても特別な場合を除いて図に記入せず、概観での状況を図にプロットした。

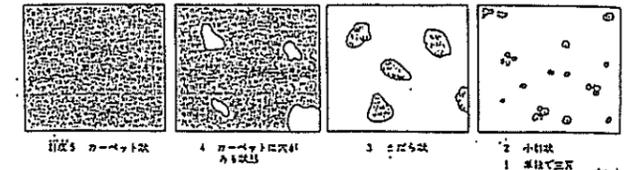
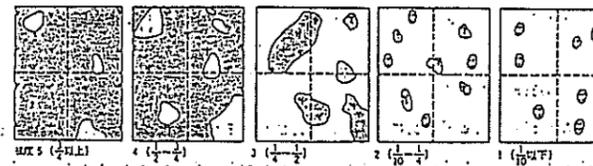
※ この調査区画は、半月前草刈りし、調査実施日の数日前に火入れをした為、切り株等で推定した。また、V区画の植物が多いのは、ここが火入れがなされていなかった為である。

< 参 考 >

被度・群度の調査はブロン-ブランケの被度・群度に従う。

- 被 度
- 5: 被度がコドラート面積の3/4以上を占めているもの
 - 4: 被度がコドラート面積の1/2~3/4を占めているもの
 - 3: 被度がコドラート面積の1/4~1/2を占めているもの
 - 2: 個体数が極めて多いか、または少なくとも被度が1/10~1/4を占めているもの
 - 1: 個体数は多いが被度が1/20以下、または被度が1/10以下で個体数が少ないもの
 - +: 個体数も少なく被度も少ないもの
 - : 極めてまれに最低被度で出現するもの(+記号にまとめられることも多い)

- 群 度
- 5: 調査区内にカーペット状に一面に生育しているもの
 - 4: 大きなまだら状または、カーペット状のあちこちに穴があいているような状態のもの
 - 3: 小群のまだら状のもの
 - 2: 小群をなしているもの
 - 1: 単独で生えているもの



※ 計算方法

- 被 度 = ある種の被度 (1~5) 合計 / 最大被度 × 100 (%)
- 群 度 = ある種の群度 (1~5) 合計 / 最大群度 × 100 (%)
- 頻 度 = ある種の出現したコドラート数 / 9 (調査した総コドラート数) × 100 (%)
- 植被率 = ある種の被度 (1~5) 合計 / 9 (区画) × 5 (被度最大) × 100 (%)

植物調査写真票

調査日
平成8年8月21日

No. 2ポイント

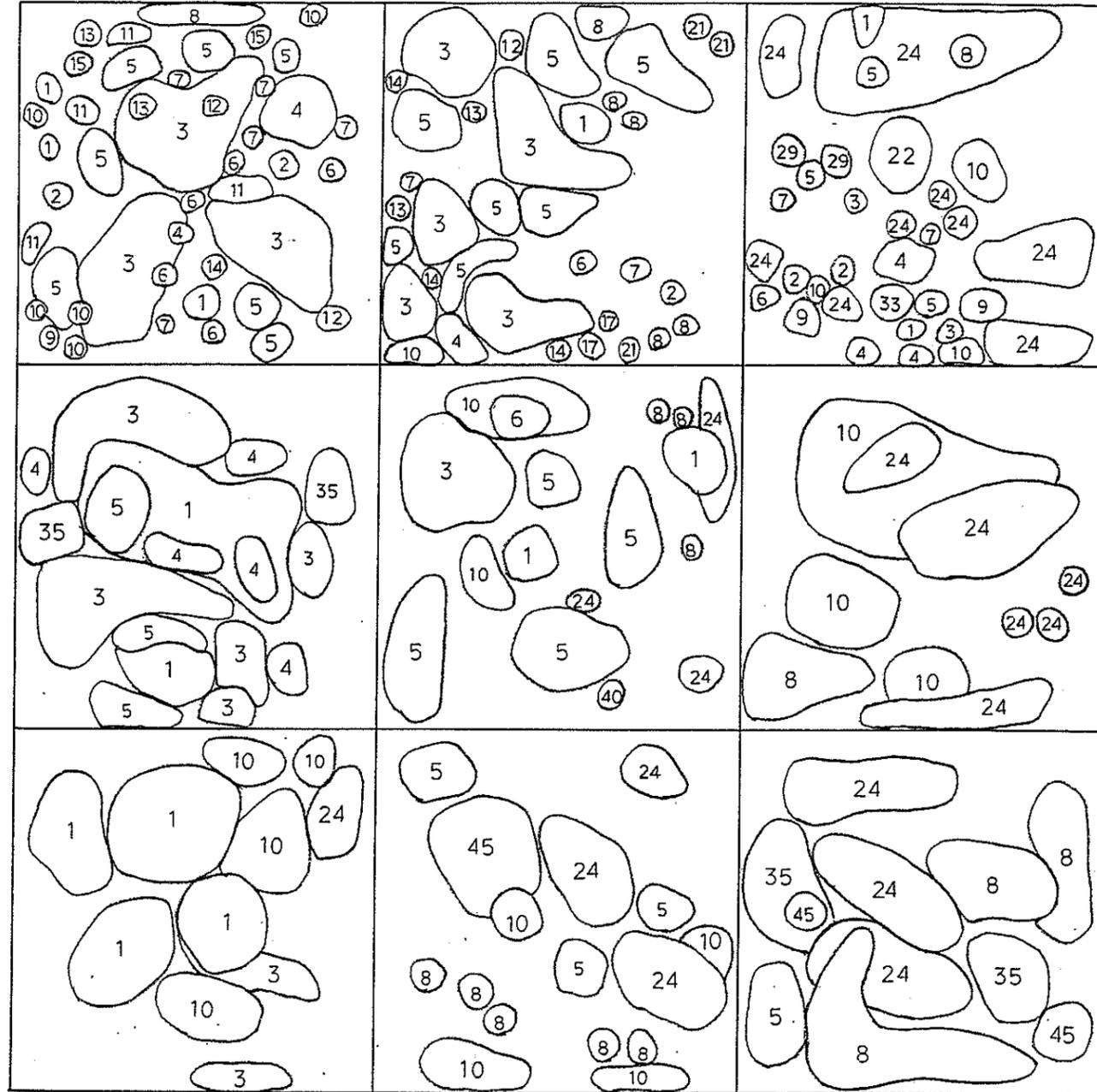
説明
コドラートの設置

現地調査状況



コドラート調査 No. 2

I	II	III
IV	V	VI
VII	VIII	IX



※ 図中の数字は調査票のNo.

コドラートNo. 2 調査票

調査日：平成8年8月21日

No.	種名	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	被度(%)	頻度(%)	群度(%)
1	オオクサキビ	+1	1/1	+1	3/1	1/1	+1	3/3	+1	+	8) 67.0	100	10) 59.0
2	アキノエノコログサ	+1	-	+1	-	-	-	+1	+1	-	0)0	44.0	4) 24.0
3	メヒシバ	3/3	3/2	+1	3/3	1/1	+1	1/2	+1	+	11) 92.0	100	14) 82.0
4	アキメヒシバ	1/1	+1	1/2	1/1	-	+1	+1	+1	-	3) 25.0	78.0	8) 47.0
5	ヌカキビ	1/3	3/3	+2	1/2	+1	+1	1/1	1/3	1/1	8) 67.0	100	17)100
6	ケアリタソウ	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	-	0)0	89.0	8) 47.0
7	セイタカアワダチソウ	+1	+1	+1	+1	+1	-	-	+1	+1	0)0	78.0	7) 41.0
8	タチヤナギ・苗 (落葉高木)	+2	1/1	1/2	-	+1	1/2	+1	1/2	3/3	7) 58.0	89.0	14) 82.0
9	キンエノコロ	+1	+1	+1	+1	+1	+1	-	+1	+1	0)0	89.0	8) 47.0
10	タカサブロウ	+1	+1	1/2	+1	+1	3/3	2/2	2/3	+1	8) 67.0	100	15) 88.0
11	イヌタデ	1/1	+1	+1	+1	+1	-	+1	+1	+1	1) 8.0	89.0	8) 47.0
12	オオイヌタデ	+1	-	-	-	-	+1	-	-	-	0)0	22.0	2) 12.0
13	アゼナルコ	+2	1/2	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	1) 8.0	100	11) 65.0
14	アオスゲ	+1	-	+1	+1	-	-	-	-	-	0)0	33.0	3) 18.0
15	アメリカイトホオズキ	+1	-	-	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
16	ピラカンサ・苗 (常緑低木)	+1	-	-	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
17	ヨウシュヤマゴボウ	+1	+1	-	-	-	-	-	-	-	0)0	22.0	2) 12.0
18	エノキグサ	+1	-	-	-	+1	-	-	-	-	0)0	22.0	2) 12.0
19	イタドリ	+1	-	-	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
20	カタバミ	+1	-	-	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
21	ヨモギ	+1	-	-	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
22	ウスゲチョウジタデ	-	+1	+1	-	+1	+1	-	-	+1	0)0	56.0	5) 29.0
23	ヒロハハウキギク	-	+1	-	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
24	ヒメガマ	-	+1	2/3	-	2/2	2/2	1/2	2/3	3/3	12)100	78.0	16) 94.0
25	ウリクサ	-	+1	-	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
26	アカメガシワ・苗 (落葉高木)	-	+1	-	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
27	スカシタゴボウ	-	+1	-	-	-	+1	-	-	+1	0)0	33.0	3) 18.0
28	チョウジタデ	-	-	+1	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
29	ヒデリコ	-	-	+1	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
30	マメアサガオ	-	-	+1	-	+1	-	-	1/1	+1	1) 8.0	44.0	4) 24.0
31	タコノアシ	-	-	+1	-	-	+1	-	-	+1	0)0	33.0	3) 18.0
32	アイダクグ	-	-	+1	-	-	-	-	+1	-	0)0	22.0	2) 12.0
33	タマガヤツリ	-	-	+1	-	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
34	ツユクサ	-	-	-	+1	-	-	+1	-	+1	0)0	33.0	3) 18.0
35	イヌビエ	-	-	-	1/2	-	-	+1	-	2/3	3) 25.0	33.0	6) 35.0
36	ホナガイヌビユ	-	-	-	+1	-	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
37	カンガレイ	-	-	-	+1	+1	+1	-	-	+1	0)0	44.0	4) 24.0
38	オヒシバ	-	-	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1	0)0	78.0	7) 41.0
39	カヤツリグサ	-	+1	-	-	-	-	-	-	+1	0)0	22.0	2) 12.0
40	ギシギシ	-	-	-	-	+1	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
41	ヒメミカンソウ	-	-	-	-	+1	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
42	ハリイ	-	-	-	-	+1	-	-	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
43	フタバムグラ	-	-	-	-	-	-	+1	-	-	0)0	11.0	1) 6.0
44	ケイヌビエ	-	-	-	-	-	-	-	+1	1/1	1) 8.0	22.0	2) 12.0
45	イシミカワ	-	-	-	-	-	-	-	-	+1	0)0	11.0	1) 6.0
46	アメリカセンダングサ	-	-	-	-	-	-	-	-	+1	0)0	11.0	1) 6.0
47	コゴメヤナギ・苗 (落葉高木)	-	-	-	-	-	-	-	-	+1	0)0	11.0	1) 6.0
合計	47種	21種	19種	22種	16種	19種	16種	15種	17種	23種			

※ 上票 [] の数値は、個体数は確認したが、草丈が低いものや芽生えの為、図には記入していない。また、被度が+しかないものについても特別な場合を除いて図に記入せず、概観での状況を図にプロットした。

第2回調査（10月10日）



組成調査票 1

県名：静岡県	事務所名：静岡土木河川改良課	水系名：巴川	河川名：麻機遊水地第3工区
調査地点：コドラートNo.1 (9×9m)	海拔高度	m	左右岸の別：左岸・右岸
調査日：平成8年 10月10日			
川幅： m	水面幅： m	高水敷幅：左岸 (m)	右岸 (m)
地形：礫地・斜面・凸・凹		位置：低水路・水際・高水敷	
土湿：乾・適・湿・過湿		土壌：粘土・土・砂・砂礫	
調査員：尾上 元、前島 固女、平野 時子		所属：静岡植物研究会	

群 落 名	アシカキ・チゴザサ群落			
階 層 構 造	優 占 種	高 さ (m)	植 被 率 (%)	胸 高 直 径 (cm)
I. 高木層		～		
II. 亜高木層		～		—
III. 低木層		～		—
		～		—
IV. 草本層	アシカキ	0.30～0.50	76%	—
	チゴザサ	0.15～0.20	49%	—

階 層	被度・群度	種 名	階 層	被度・群度	種 名
IV	100/100	アシカキ			
	50/ 67	チゴザサ			
	43/ 91	ヒメガマ			
	25/ 36	ホソバナノウナギツカミ			
	25/ 58	カンガレイ			
	18/ 27	ケイヌビエ			
	18/ 45	クサネム			
	18/ 42	ヒロハイヌノヒゲ			
	11/ 21	ケキツネノボタン			
	9/ 18	シソクサ			
	9/ 12	アゼスゲ			
	7/ 21	アゼトウガラシ			
	7/ 15	タネツケバナ			
	5/ 18	ヒロハホウキギク			
	5/ 12	ノチドメ			
	5/ 15	コウガイゼキショウ			
	5/ 6	セイタカアワダチソウ			
	5/ 15	アメリカアゼナ			
	5/ 18	ムツオレグサ			
	5/ 6	マツバイ			
	5/ 9	ヒメクグ			
	5/ 12	コツブヌマハリイ			
	2/ 9	ウスゲチョウジタデ			
	2/ 12	ヤナギヌカボ			
	2/ 12	イボクサ			
	2/ 9	アゼナ			
	2/ 12	タカサブロウ			
2/ 9	セリ				
2/ 12	カワラスガナ				

※ 被度が+（個体数も少なく被度も少ないもの）しか無いものは記入していない。

調査日
平成8年10月10日

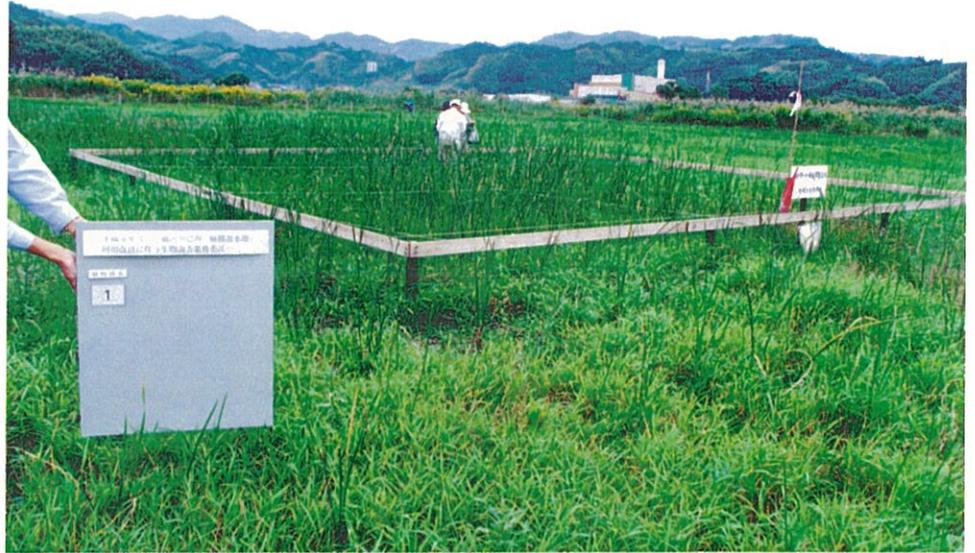
No. 1ポイント

写真標題

組成調査
(2回目)

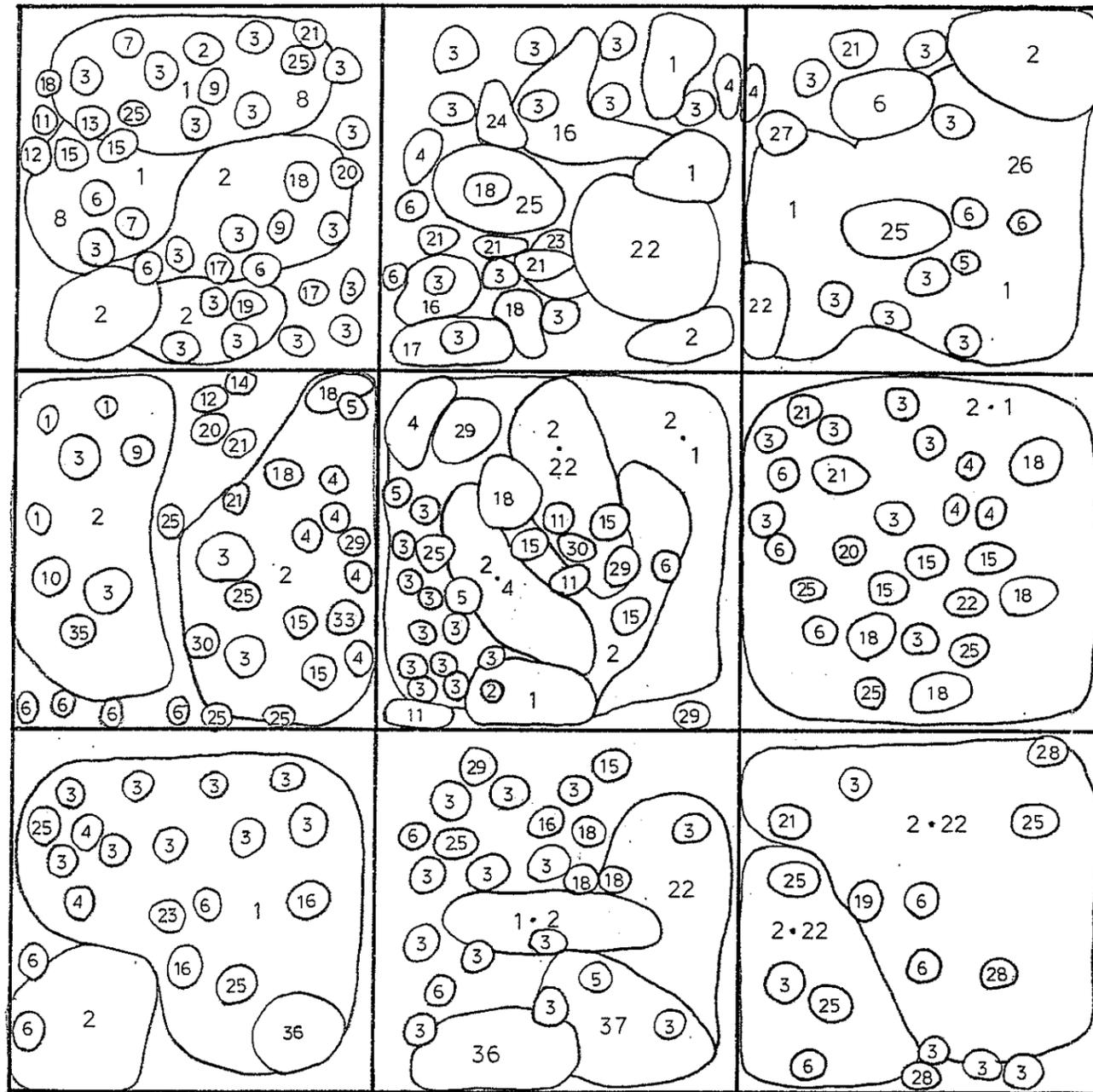
説明

現地調査状況



コドラート調査 No. 1

I	II	III
IV	V	VI
VII	VIII	IX



※ 図中の数字は調査票のNo.

コドラートNo. 1 調査票

調査日：平成8年10月10日

No.	種名	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	被度(%)	頻度(%)	群度(%)
1	チゴザサ	4/4	2/1	3/4	1/1	1/1	2/3	5/5	4/4	-	22) 65.0	89.0	23) 70.0
2	アシカキ	4/4	2/1	2/2	5/5	5/5	5/5	2/2	4/4	5/5	34) 100	100	33) 100
3	ヒメガマ	3/3	2/4	2/3	2/2	2/4	2/3	2/4	2/4	2/3	19) 56.0	100	30) 91.0
4	ケイヌビエ	1/2	1/1	1/1	1/1	2/2	1/1	1/1	-	-	8) 24.0	78.0	9) 27.0
5	ヒロハホウキギク	1/1	-	+1	+1	1/1	+1	-	+1	-	2) 6.0	67.0	6) 18.0
6	クサネム	1/2	1/2	2/3	+1	1/1	1/1	1/2	+1	1/2	8) 24.0	100	15) 45.0
7	ウスゲチヨウジタデ	1/1	-	-	-	+1	+1	-	-	-	1) 3.0	33.0	3) 9.0
8	ノチドメ	2/2	-	-	-	+1	+1	-	-	-	2) 6.0	33.0	4) 12.0
9	ヤナギヌカボ	1/1	-	+1	+1	-	+1	-	-	-	1) 3.0	44.0	4) 12.0
10	イボクサ	1/1	-	+1	+1	-	+1	-	-	-	1) 3.0	44.0	4) 12.0
11	アゼトウガラシ	1/1	+1	+1	-	1/2	1/2	-	-	-	3) 9.0	56.0	7) 21.0
12	アゼナ	1/1	-	-	+1	-	+1	-	-	-	1) 3.0	33.0	3) 9.0
13	アメリカセンダングサ	+1	-	-	-	-	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 3.0
14	タカサブロウ	1/1	+1	-	+1	-	+1	-	-	-	1) 3.0	44.0	4) 12.0
15	シソクサ	1/1	-	+1	-	1/2	2/1	-	+1	-	4) 12.0	56.0	6) 18.0
16	ケイツネノボタン	+1	2/1	+1	-	-	1/1	1/2	1/1	-	5) 15.0	67.0	7) 21.0
17	コウガイゼキショウ	1/1	+1	-	-	-	+1	-	1/2	-	2) 6.0	44.0	5) 15.0
18	ヒロハイヌノヒゲ	1/2	2/4	-	1/1	1/3	2/2	-	1/2	-	8) 24.0	67.0	14) 42.0
19	セイタカアワダチソウ	1/1	-	-	-	-	-	-	1/1	2) 6.0	22.0	2) 6.0	
20	アメリカアゼナ	1/1	-	+1	1/1	+1	+1	-	-	-	2) 6.0	56.0	5) 15.0
21	ムツオレグサ	+1	1/1	1/1	+1	-	1/1	-	-	+1	3) 9.0	67.0	6) 18.0
22	ホソバノウナギツカミ	1/1	+1	1/1	+1	1/1	1/1	-	2/1	5/5	11) 32.0	89.0	12) 36.0
23	タネツケバナ	1/1	1/1	1/1	-	-	-	+1	+1	-	3) 9.0	56.0	5) 15.0
24	マツバイ	1/1	1/1	-	-	-	-	-	-	-	2) 6.0	22.0	2) 6.0
25	カンガレイ	2/3	2/2	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	1/1	1/3	11) 32.0	100	19) 58.0
26	アゼスゲ	-	-	4/4	-	-	-	-	-	-	4) 12.0	11.0	4) 12.0
27	オモダカ	-	-	+1	-	-	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 3.0
28	セリ	-	-	-	+1	-	-	-	-	1/2	1) 3.0	22.0	3) 9.0
29	カワラスガナ	-	-	-	+1	1/1	+1	-	+1	-	1) 3.0	44.0	4) 12.0
30	ヒメクグ	-	-	-	1/1	1/1	+1	-	-	-	2) 6.0	33.0	3) 9.0
31	ヌカボタデ	-	-	-	-	+1	+1	-	-	-	0) 0	22.0	2) 6.0
32	ヒナガヤツリ	-	-	-	-	+1	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 3.0
33	コナギ	-	-	-	+1	-	+1	-	-	-	0) 0	22.0	2) 6.0
34	イヌタデ	-	-	-	-	-	+1	-	-	-	0) 0	11.0	1) 3.0
35	ホソバノヨツバムグラ	-	-	-	+1	-	+1	-	-	-	0) 0	22.0	2) 6.0
36	コツブヌマハリイ	1/1	+1	-	-	-	-	+1	1/1	-	2) 6.0	44.0	4) 12.0
37	ヤノネグサ	-	-	-	-	-	-	-	+1	-	0) 0	11.0	1) 3.0
合計	37種	26種	16種	18種	20種	18種	27種	9種	15種	8種			

※ 上票の数值は、個体数は確認したが、草丈が低いものや芽生えの為、図には記入していない。また、被度が+しかないものについても特別な場合を除いて図に記入せず、概観での状況を図にプロットした。

組成調査票 1

県名：静岡県	事務所名：静岡土木河川改良課	水系名：巴川	河川名：麻機遊水地第3工区
調査地点：コドラートNo2 (9×9m)	海拔高度	m	左右岸の別：左岸・右岸
調査日：平成8年10月10日			
川幅： m	水面幅： m	高水敷幅：左岸 (m)	右岸 (m)
地形：礫地・斜面・凸・凹		位置：低水路・水際・高水敷	
土湿：乾・適・湿・過湿		土壌：粘土・土・砂・礫	
調査員：尾上元、前島固女、平野時子		所属：静岡植物研究会	

群落名	ヌカキビ・オオクサキビ群落			
階層構造	優占種	高さ (m)	植被率 (%)	胸高直径 (cm)
I. 高木層		～		
II. 亜高木層		～		—
III. 低木層		～		—
		～		—
IV. 草本層	ヒメガマ	0.50～0.80	33%	—
	ヌカキビ	0.30～0.50	49%	—

階層	被度・群度	種名	階層	被度・群度	種名
IV	100/ 54	ヌカキビ		5/ 17	ツユクサ
	68/ 38	オオクサキビ			
	68/ 88	ヒメガマ			
	50/100	コゴメヤナギ (苗)			
	36/ 33	キンエノコロ			
	32/ 17	メヒシバ			
	23/ 29	イヌビエ			
	18/ 25	アキメヒシバ			
	14/ 33	タカサブロウ			
	14/ 17	カンガレイ			
	14/ 33	オヒシバ			
	14/ 8	ケイヌビエ			
	9/ 21	ウスゲチョウジタデ			
	9/ 21	タマガヤツリ			
	9/ 21	ヒメイヌビエ			
	5/ 29	ケアリタソウ			
	5/ 4	アキノエノコログサ			
	5/ 8	オオイヌタデ			
	5/ 29	セイトカアワダチソウ			
	5/ 17	アオスゲ			
	5/ 8	カヤツリグサ			
	5/ 25	タコノアシ			
	5/ 4	イ			
	5/ 4	ヒデリコ			
	5/ 4	コウガイゼキショウ			
5/ 33	スカシタゴボウ				
5/ 21	マメアサガオ				
5/ 13	アイダクダ				
5/ 8	アカメヤナギ (苗)				
5/ 13	ハリイ				

※ 被度が+ (個体数も少なく被度も少ないもの) しか無いものは記入していない。

植物調査写真票

調査日
平成8年10月10日

No. 2ポイント

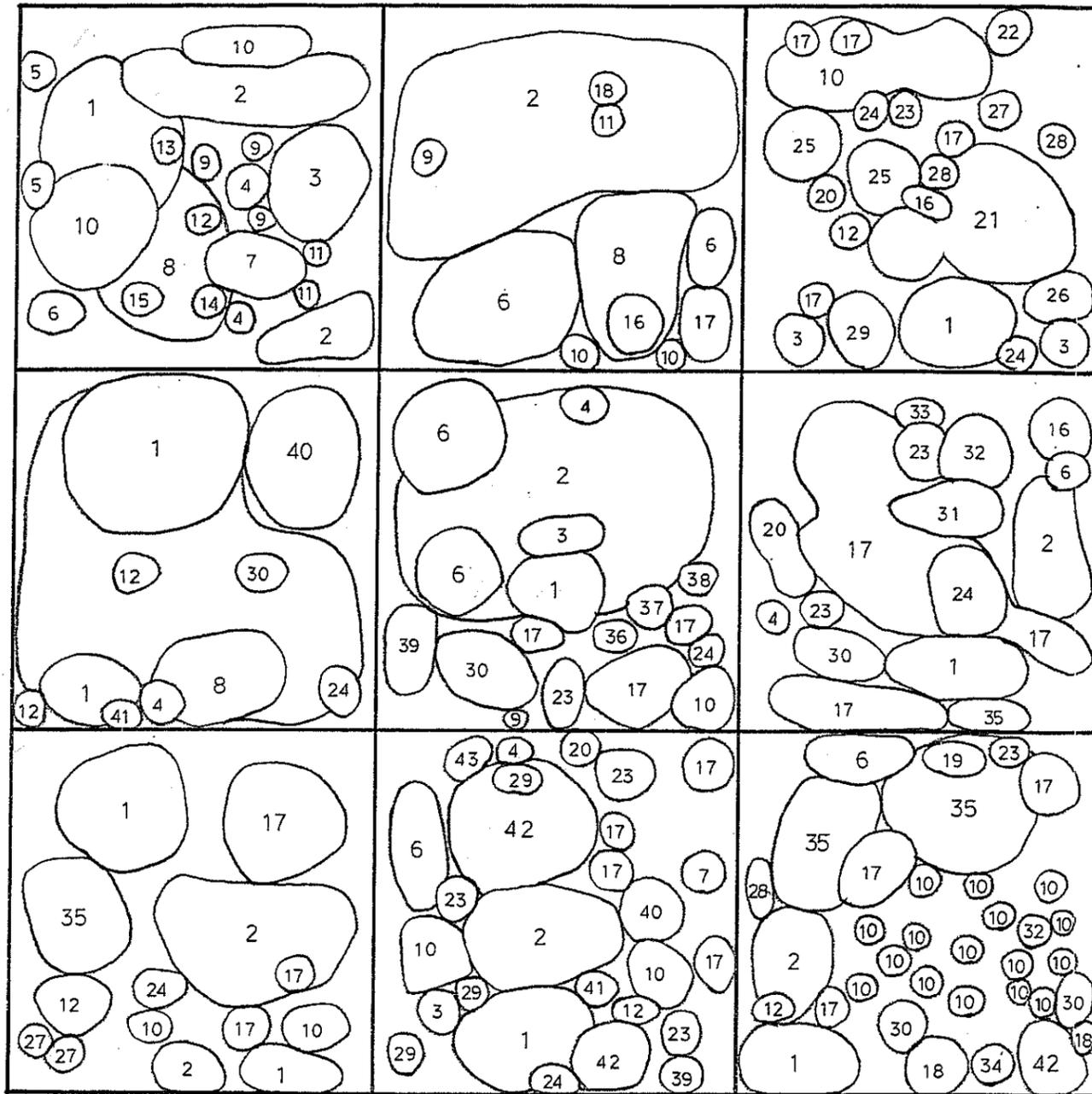
説 明

現地調査状況



コドラート調査 No. 2

I	II	III
IV	V	VI
VII	VIII	IX



※ 図中の数字は調査票のNo.

コドラートNo.2 調査票

調査日：平成8年10月10日

No.	種名	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	被度(%)	頻度(%)	群度(%)
1	オオクサキビ	2/1	+/1	1/1	3/1	1/1	2/1	2/1	2/1	2/1	15) 68.0	100	9) 38.0
2	ヌカキビ	2/2	4/2	-	4/2	4/1	2/2	2/1	2/2	2/1	22) 100	89.0	13) 54.0
3	アキメヒシバ	2/1	+/1	1/1	-	1/1	+/1	-	+/1	-	4) 18.0	67.0	6) 25.0
4	ケアリタソウ	1/1	+/1	+/1	+/1	+/1	+/1	-	+/1	-	1) 5.0	78.0	7) 29.0
5	アキノエノコログサ	1/1	-	-	-	-	-	-	-	-	1) 5.0	11.0	1) 4.0
6	キンエノコロ	1/1	2/1	+/1	+/1	2/1	+/1	-	2/1	1/1	8) 36.0	89.0	8) 33.0
7	オオイヌタデ	1/1	-	-	-	-	-	-	+/1	-	1) 5.0	22.0	2) 8.0
8	メヒシバ	3/1	2/1	-	2/1	-	+/1	-	-	-	7) 32.0	44.0	4) 17.0
9	セイトカアワダチソウ	1/1	+/1	+/1	+/1	+/1	-	-	+/1	+/1	1) 5.0	78.0	7) 29.0
10	コゴメヤナギ(苗)	2/2	+/2	2/3	+/1	1/3	1/2	1/2	2/4	2/5	11) 50.0	100	24) 100
11	アオスゲ	+/1	+/1	+/1	-	-	-	1/1	-	-	1) 5.0	44.0	4) 17.0
12	イヌタデ	+/1	+/1	+/1	+/1	+/1	+/1	+/1	+/1	+/1	0) 0	100	9) 38.0
13	ヨモギ	+/1	-	-	-	-	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 4.0
14	アメリカイヌホオズキ	+/1	-	-	-	-	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 4.0
15	ジュズスゲ	+/1	-	-	-	-	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 4.0
16	ウスゲチヨウジタデ	-	1/1	+/1	+/1	-	1/1	-	-	+/1	2) 9.0	56.0	5) 21.0
17	ヒメガマ	-	1/1	1/3	2/4	2/2	3/3	2/2	2/3	2/3	15) 68.0	89.0	21) 88.0
18	カヤツリグサ	-	+/1	-	-	-	-	-	1/1	1) 5.0	22.0	2) 8.0	
19	コゴメガヤツリ	-	-	-	-	-	-	-	+/1	0) 0	11.0	1) 4.0	
20	タコノアシ	-	+/1	+/1	+/1	-	1/1	-	+/1	+/1	1) 5.0	67.0	6) 25.0
21	タマガヤツリ	-	-	2/4	-	-	-	-	-	+/1	2) 9.0	22.0	5) 21.0
22	イ	-	-	1/1	-	-	-	-	-	-	1) 5.0	11.0	1) 4.0
23	オヒシバ	-	-	+/1	+/1	1/2	1/1	-	1/2	+/1	3) 14.0	67.0	8) 33.0
24	タカサブロウ	-	+/1	1/1	+/1	+/1	1/1	1/1	+/1	+/1	3) 14.0	89.0	8) 33.0
25	ヒデリコ	-	-	1/1	-	-	-	-	-	-	1) 5.0	11.0	1) 4.0
26	コウガイゼキショウ	-	-	1/1	-	-	-	-	-	-	1) 5.0	11.0	1) 4.0
27	スカシタゴボウ	-	-	+/1	+/1	+/1	-	1/2	+/1	+/2	1) 5.0	67.0	8) 33.0
28	マメアサガオ	-	+/1	+/1	-	+/1	-	-	+/1	1/1	1) 5.0	56.0	5) 21.0
29	アイダクゲ	-	-	1/1	-	-	-	+/1	+/1	-	1) 5.0	33.0	3) 13.0
30	カンガレイ	-	-	-	+/1	1/1	1/1	-	-	1/1	3) 14.0	56.0	4) 17.0
31	アカメヤナギ(苗)	-	-	-	+/1	-	1/1	-	-	-	1) 5.0	22.0	2) 8.0
32	ハリイ	-	-	-	+/1	-	1/1	-	-	+/1	1) 5.0	33.0	3) 13.0
33	セイヨウタンポポ	-	-	-	+/1	-	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 4.0
34	イシミカワ	-	-	-	-	-	-	-	-	+/1	0) 0	11.0	1) 4.0
35	イヌビエ	-	-	-	+/1	-	1/1	1/1	+/1	3/3	5) 23.0	56.0	7) 29.0
36	エノキグサ	-	-	-	-	+/1	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 4.0
37	スズメノヒエ	-	-	-	-	+/1	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 4.0
38	ヒメミカンソウ	-	-	-	-	+/1	-	-	-	-	0) 0	11.0	1) 4.0
39	ツユクサ	-	-	-	-	1/1	+/1	-	+/1	+/1	1) 5.0	44.0	4) 17.0
40	ヒメイヌビエ	-	-	-	2/1	-	+/1	+/1	+/1	+/1	2) 9.0	56.0	5) 21.0
41	アメリカセンダングサ	-	-	-	+/1	-	+/1	-	+/1	+/1	0) 0	44.0	4) 17.0
42	ケイヌビエ	-	-	-	-	-	-	-	2/1	1/1	3) 14.0	22.0	2) 8.0
43	ヨシ	-	-	-	-	-	-	-	+/1	-	0) 0	11.0	1) 4.0
44	アゼナ	-	-	-	-	-	-	-	-	+/1	0) 0	11.0	1) 4.0
45	ニワホコリ	-	-	-	-	-	-	-	-	+/1	0) 0	11.0	1) 4.0
46	アシボソ	-	-	-	-	-	-	-	-	+/1	0) 0	11.0	1) 4.0
合計	46種	15種	16種	20種	21種	18種	20種	11種	23種	27種			

※ 上票の数值は、個体数は確認したが、草丈が低いものや芽生えの為、図には記入していない。また、被度が+しかないものについても特別な場合を除いて図に記入せず、概観での状況を図にプロットした。



調査日
平成8年 8月19日

No. A - A'

写真標題

植生断面調査

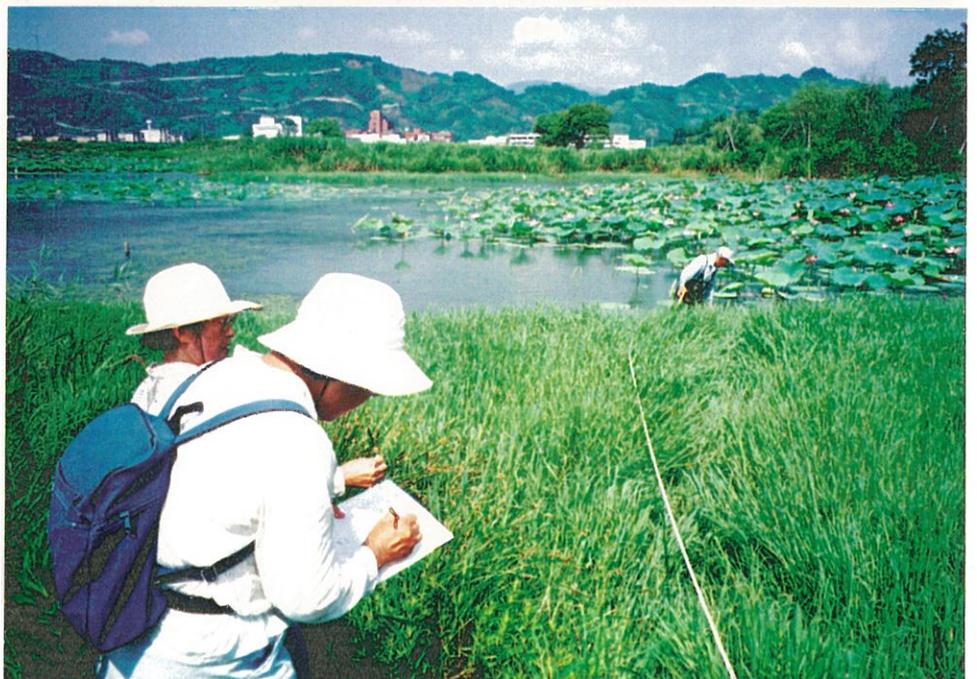
説明

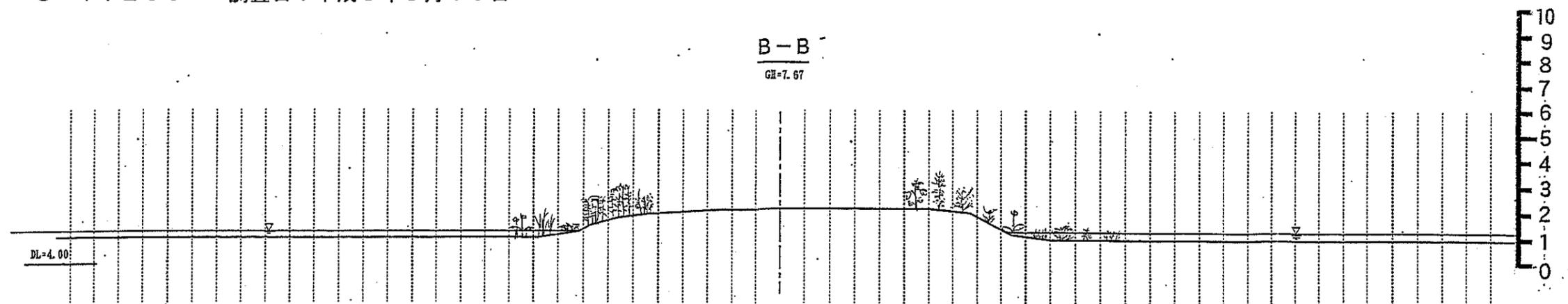
A - A' 断面
現地調査状況



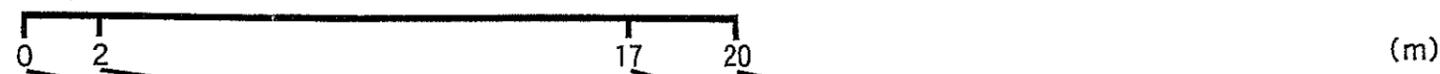
説明

A - A' 断面
現地調査状況





アレチハナガサ
 セイタカアワダチソウ
 オオクサキビ
 チクゴスズメノヒエ
 マコモ
 ハス
 アイダクグ
 アレチヌスビトハギ
 オオアレチノギク
 オオオナモミ
 ハス
 ホザキノフサモ
 チクゴスズメノヒエ
 オニビシ
 ホザキノフサモ



範囲(m)	~0	0~2	2~17	17~20	20~
高木層	タチヤナギ	—	—	—	—
低木層	—	—	—	—	—
草本層	アオウキクサ ウキクサ オギ カサスゲ チクゴスズメノヒエ ハス マコモ	アキメヒシバ オオクサキビ オギ オニノゲシ オヒシバ カサスゲ セイタカアワダチソウ ヨモギ	アイダクグ アキメヒシバ アレチヌスビトハギ アレチハナガサ オオアレチノギク オオオナモミ オオクサキビ オギ カワラスガナ カンガレイ キシユウスズメノヒエ セイタカアワダチソウ チクゴスズメノヒエ	オニビシ チクゴスズメノヒエ ハス ホザキノフサモ	オニビシ キシユウスズメノヒエ ヒメガマ ホザキノフサモ
群落名	ハス	オオクサキビ	アレチヌスビトハギ	ハス	オニビシ

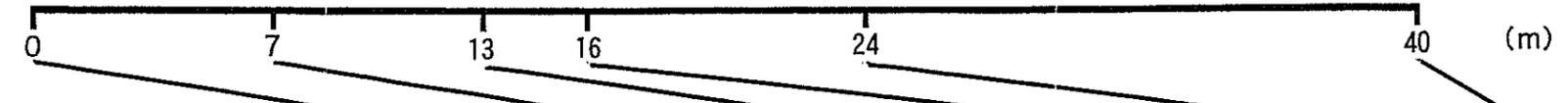
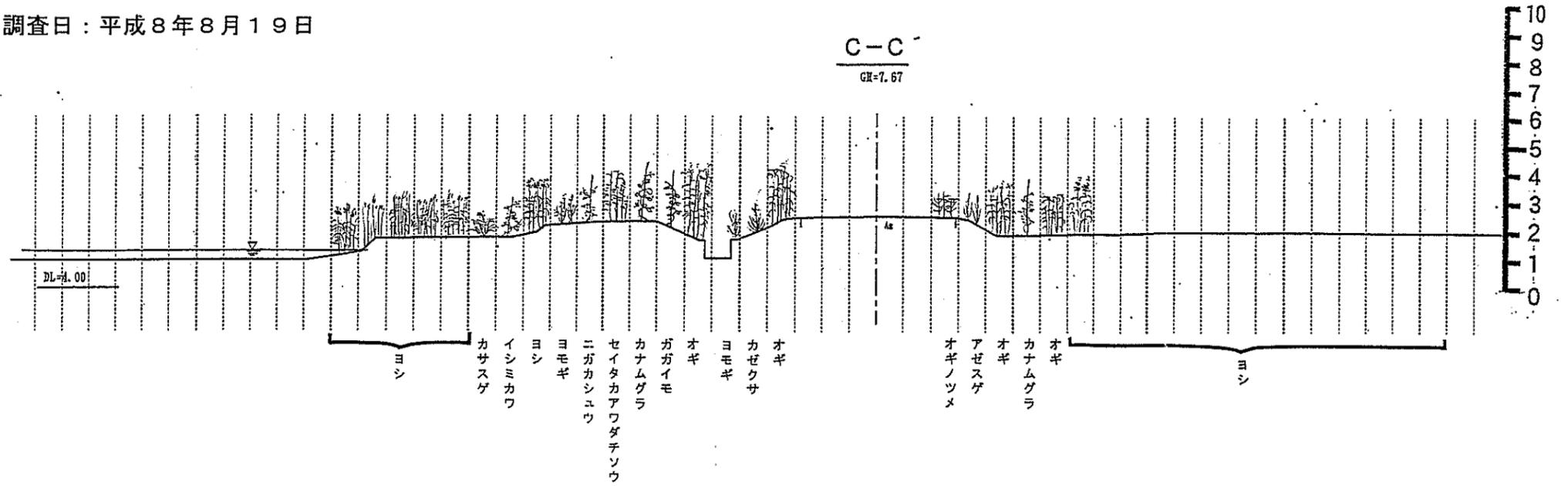
調査日
平成8年 8月19日

No. B - B'

説 明

B - B' 断面
現地調査状況





範囲 (m)	~ 0	0~7	7~13	13~16	16~24	24~40
高木層	—	タチヤナギ	アカメヤナギ エノキ(苗)	—	—	—
低木層	—	ノイバラ	ノイバラ	—	—	—
草本層	イシミカワ カサスゲ ヨシ	アゼナルコ イシミカワ オオオナモミ オギ カサスゲ カナムグラ カラスウリ ギンギン ジャノヒゲ セイタカアワダチソウ チゴザサ ツユクサ ニガカシユウ ヒナタイノコズチ ヘクソカズラ ヨシ ヨモギ	アレチギンギン イヌホオズキ オオアレチノギク オオオナモミ オギ オヘビイチゴ ガガイモ カサスゲ カナムグラ カモジグサ キシヨウブ シマスズメノヒエ ジャノヒゲ シロツメクサ セイタカアワダチソウ チカラシバ チゴザサ ツユクサ ナガバギンギン ニガカシユウ ヌカキビ ネズミムギ ヒナタイノコズチ ヒメムカシヨモギ ヘクソカズラ ヨメナ ヨモギ	イシミカワ オギ カサスゲ カゼクサ カラスウリ チカラシバ ツユクサ ヒナタイノコズチ ヘクソカズラ ヨメナ ヨモギ	アゼスゲ イシミカワ オギ オギノツメ カサスゲ クサヨシ セイタカアワダチソウ チカラシバ ツユクサ ヒナタイノコズチ ヨモギ	イシミカワ オギ カサスゲ カナムグラ カワヤナギ ツユクサ ヨシ
群落名	ヨシ	ヨシ	オギ	オギ	オギ	オギ

植物調査写真票

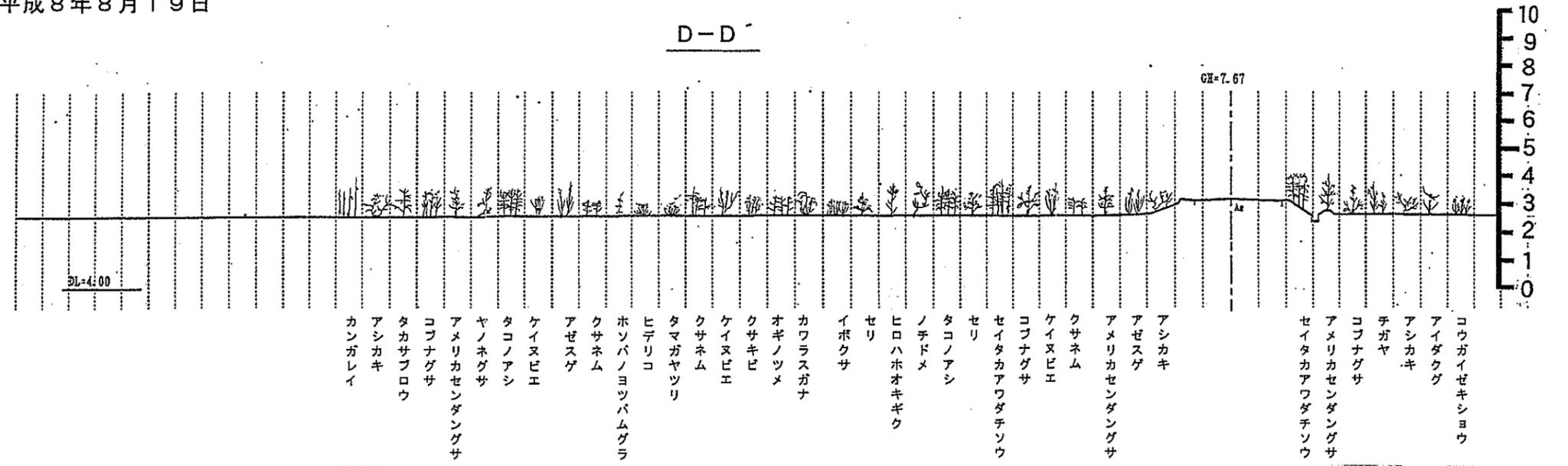
調査日
平成8年 8月19日

No. C-C'

説 明

C-C' 断面
現地調査状況





範囲 (m)	0~10	10~20	20~31	31~40
高木層	—	—	アカメガシワ	—
低木層	—	—	ノイバラ	—
草本層	アシカキ アゼスゲ アメリカセンダングサ イボクサ オギ カサスゲ カンガレイ クサネム ケイヌビエ コガマ コブナグサ シマスズメノヒエ セイタカアワダチソウ セリ タカサブロウ タコノアシ タマガヤツリ チガヤ チゴザサ ヒデリコ ホソバノヨツバムグラ ヤナギタデ ヤノネグサ	アシボソ アゼスゲ アメリカセンダングサ イヌビエ イボクサ オギノツメ オモダカ カサスゲ カワラスガナ カンガレイ クサキビ クサネム ケイヌビエ コガマ コブナグサ シマスズメノヒエ セイタカアワダチソウ セリ タコノアシ タマガヤツリ チゴザサ ヌカキビ ハリイ ヒデリコ ホソバノヨツバムグラ ヤノネグサ	アイダクグ アシカキ アシボソ アゼスゲ アメリカセンダングサ オギ オギノツメ オヘビイチゴ クサネム クサヨシ ケイヌビエ ケキツネノボタン コブナグサ スズメノトウガラシ セイタカアワダチソウ セリ タコノアシ チカラシバ チゴザサ ノチドメ ヒロハホオキギク ヘクソカズラ ホソバアキノゲシ ホソバノヨツバムグラ ヤノネグサ ヤワラスゲ ヨメナ	アイダクグ アシカキ アメリカセンダングサ オオアレチノギク オオニシキソウ ケキツネノボタン コウガイゼキショウ コブナグサ シバ セイタカアワダチソウ チガヤ ツユクサ マツバゼリ メリケンカルカヤ
群落名	クサネム	クサネム	セイタカアワダチソウ	アメリカセンダングサ

調査日
平成8年 8月19日

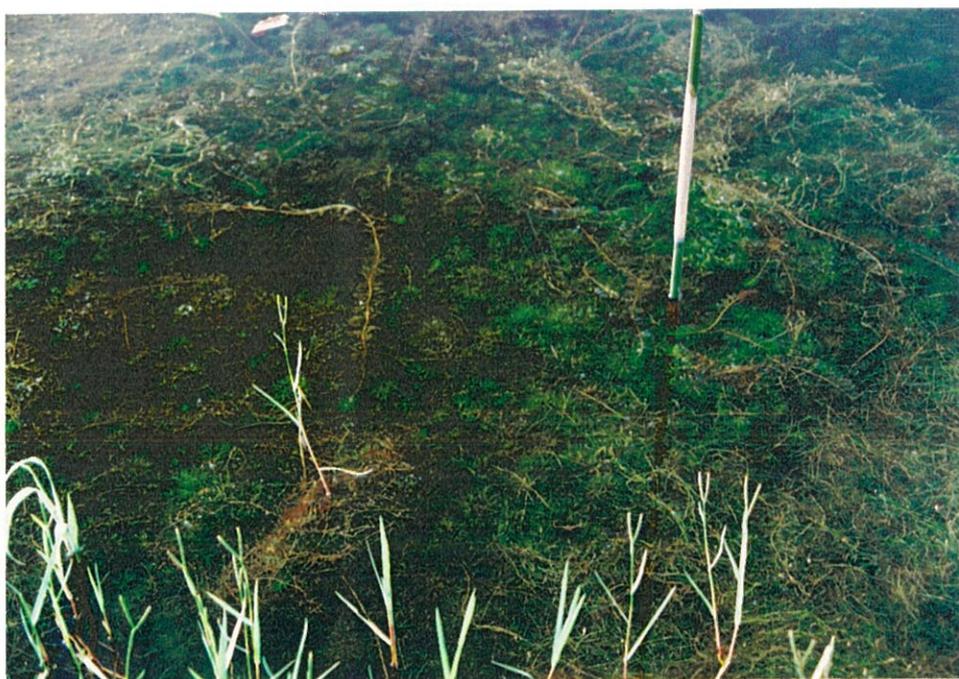
No. D - D'

説 明



⑤特定種調査

(他の場所では少なくなっている植物)



ホ ッ ス モ

・特定種総括表

様式 9

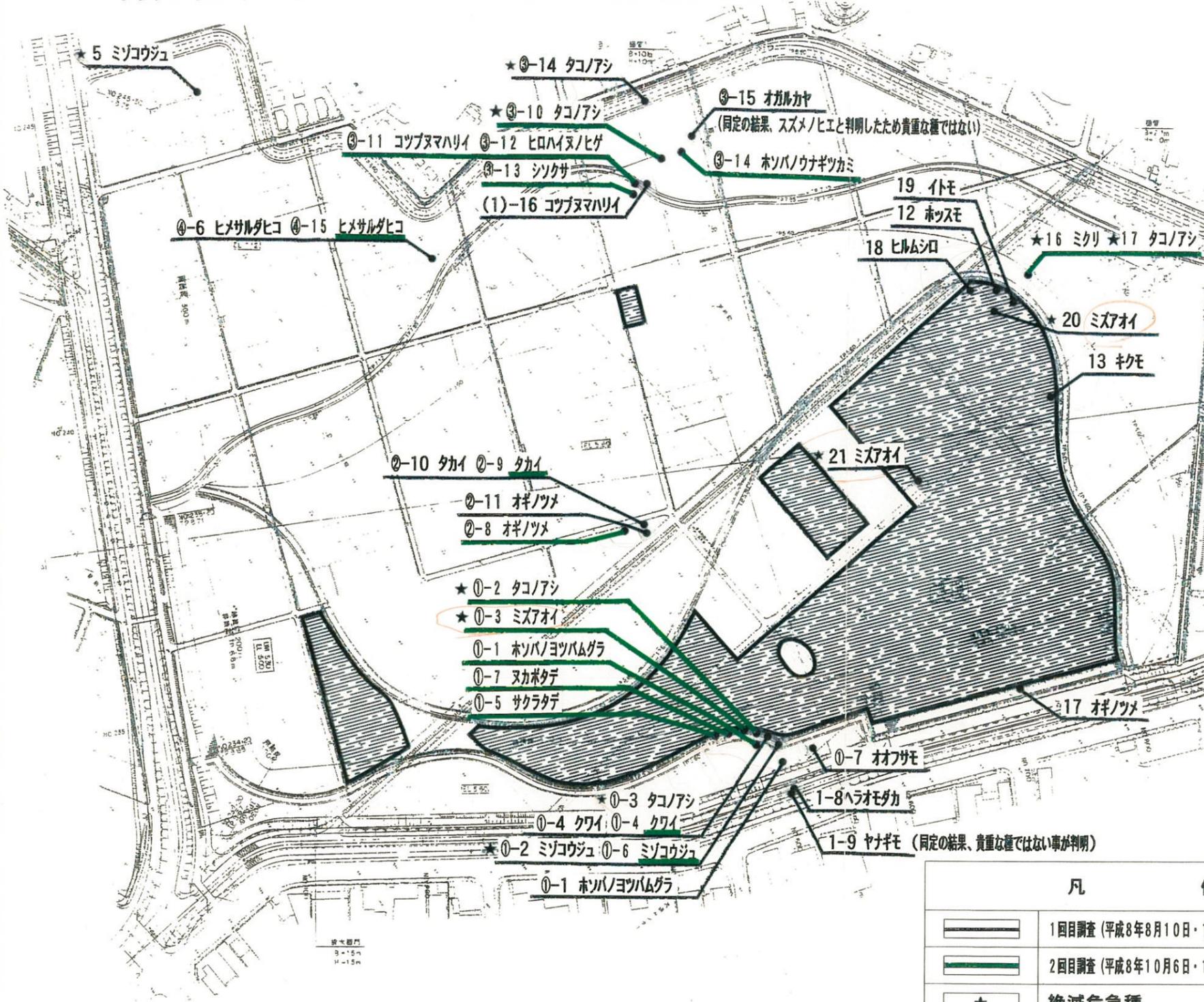
県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査年度
静岡県	静岡土木事務所河川改良課	巴川	麻機遊水地第3工区	平成8年度

1回目（調査日：平成8年8月10・19・21日）					
科名	種名	今回調査区分			備考
		文献	聞き取り	現地	
アカネ	ホソバノヨツバムグラ	○		○	
アリノトウグサ	オオフサモ			○	
イグサ	タカイ			○	
イバラモ	ホッスモ			○	
オモダカ	クワイ			○	
	ヘラオモダカ			○	
カヤツリグサ	コツブヌマハリイ			○	
キツネノマゴ	オギノツメ			○	
ゴマノハグサ	キクモ	○		○	
シソ	ミゾコウジュ	○		○	絶滅危急種
	ヒメサルダヒコ			○	
ヒルムシロ	ヒルムシロ			○	
	イトモ			○	
ミズアオイ	ミズアオイ	○		○	絶滅危急種
ユキノシタ	タコノアシ	○		○	絶滅危急種
小計	12科 15種	5	—	15	
2回目（調査日：平成8年10月6・10日）					
科名	種名	文献	聞き取り	現地	備考
アカネ	ホソバノヨツバムグラ	○		○	
イグサ	タカイ			○	
オモダカ	クワイ			○	
カヤツリグサ	コツブヌマハリイ			○	
キツネノマゴ	オギノツメ			○	
ゴマノハグサ	シソクサ			○	
シソ	ミゾコウジュ	○		○	絶滅危急種
	ヒメサルダヒコ			○	
タデ	サクラタデ	○		○	
	ヌカボタデ			○	
	ホソバノウナギツカミ			○	
ホシクサ	ヒロハイヌノヒゲ	○		○	
ミクリ	ミクリ			○	絶滅危急種
ミズアオイ	ミズアオイ	○		○	絶滅危急種
ユキノシタ	タコノアシ	○		○	絶滅危急種
小計	12科 15種	6	—	15	
文献合計		7科 7種			
聞き取り合計		—			
現地合計		15科 21種			

※同定者：静岡植物研究会 前島 固女、平野 時子

※文献出典：麻機遊水地の主な湿性植物（静岡植物研究会提供）

特定種 (他の場所では少なくなっている植物) 確認位置図



植物特定種一覧表
(他の場所では少なくなっている植物)

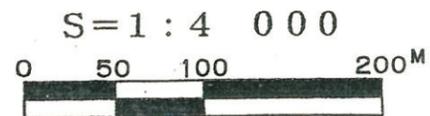
1回目 (調査日平成8年8月10・19・21日)			
番号	科名	種名	備考
①-1	アカネ	ホソバノヨツバムグラ	
①-2	シソ	ミソコウジュ	絶滅危急種
①-3	ユキノシタ	タコノアシ	絶滅危急種
①-4	オモダカ	クワイ	
5	シソ	ミソコウジュ	絶滅危急種
④-6	シソ	ヒメサルダヒコ	
①-7	アリノトウグサ	オオフサモ	
1-8	オモダカ	ヘラオモダカ	
1-9	ヒルムシロ	イトモ	同定の結果、貴重な種ではない。
②-10	イグサ	タカイ	
②-11	キツネノマゴ	オギノツメ	
12	イバラモ	ホッスモ	
13	ゴマノハグサ	キクモ	
②-14	ユキノシタ	タコノアシ	絶滅危急種
①-15	イネ	オガルカヤ	同定の結果、スズメノヒエと判明し、貴重な種ではない。
(1)-16	カヤツリグサ	コツブヌマハリイ	
17	キツネノマゴ	オギノツメ	
18	ヒルムシロ	ヒルムシロ	
19	ヒルムシロ	イトモ	
20	ミスアオイ	ミスアオイ	絶滅危急種
21	ミスアオイ	ミスアオイ	絶滅危急種
2回目 (調査日平成8年10月6・10日)			
番号	科名	種名	備考
①-1	アカネ	ホソバノヨツバムグラ	
①-2	ユキノシタ	タコノアシ	絶滅危急種
①-3	ミスアオイ	ミスアオイ	絶滅危急種
①-4	オモダカ	クワイ	
①-5	タデ	サクラタデ	
①-6	シソ	ミソコウジュ	絶滅危急種
①-7	タデ	ヌカボタデ	
②-8	キツネノマゴ	オギノツメ	
②-9	イグサ	タカイ	
②-10	ユキノシタ	タコノアシ	絶滅危急種
②-11	カヤツリグサ	コツブヌマハリイ	
②-12	ホシクサ	ヒロハイヌノヒゲ	
②-13	ゴマノハグサ	シソクサ	
②-14	タデ	ホソバノウナギツカミ	
④-15	シソ	ヒメサルダヒコ	
16	ミクリ	ミクリ	絶滅危急種
17	ユキノシタ	タコノアシ	絶滅危急種

合計15科21種

※ 同定者: 静岡植物研究会 前島 園女、平野 晴子

凡 例	
	1回目調査 (平成8年8月10日・19日・21日) にて確認した種
	2回目調査 (平成8年10月6日・10日) にて確認した種
	絶滅危急種

※その他は、特有種及び貴重な種
 ※①～③は植物相調査ポイント番号、(1)は組成調査
 コドラートNo.1、1-8、1-9は植生断面調査1
 ポイント (A-A') 内に存在している事を示す。



・特定種の記録

<リスト>

科名	種名
アカネ	ホソバノヨツバムグラ
アリノトウグサ	オオフサモ
イグサ	タカイ
イバラモ	ホッスモ
オモダカ	クワイ
	ヘラオモダカ
カヤツリグサ	コツブヌマハリイ
キツネノマゴ	オギノツメ
ゴマノハグサ	キクモ
	シソクサ
シソ	ヒメサルダヒコ
	ミゾコウジュ (絶滅危急種)
タデ	サクラタデ
	ヌカボタデ
	ホソバノウナギツカミ
ヒルムシロ	イトモ
	ヒルムシロ
ホシクサ	ヒロハイヌノヒゲ
ミクリ	ミクリ (絶滅危急種)
ミズアオイ	ミズアオイ (絶滅危急種)
ユキノシタ	タコノアシ (絶滅危急種)
合 計 15科 21種	

植物調査写真票

調査日
平成8年8月10日・
19日・21日

No. ①-1

写真標題
特定種

(他の場所では少なくなっ
ている植物)

説明

ホハノヨツバムグラ

植物相調査①ポイ
ント内に存在。



No. ①-1

説明

ホハノヨツバムグラ

植物相調査①ポイ
ント内に存在。



No. ①-2

説明

ミゾコウジュ
(絶滅危急種)

植物相調査①ポイ
ント内に存在。



No. ①-3、①-4

説明

①-3

タコノアシ (左)
(絶滅危急種)

①-4

クワイ (右)

植物相調査①ポイント内に存在。



No. 5

説明

ミゾコウジュ
(絶滅危急種)



No. ④-6

説明

ヒメサルダヒコ

植物相調査④ポイント内に存在。

訂正

写真撮影板に植物相調査④ポイントの番号が抜けているが、④ポイントに含む。



No. ④-6

説明

ヒメサルダヒコ

植物相調査④ポイント内に存在。

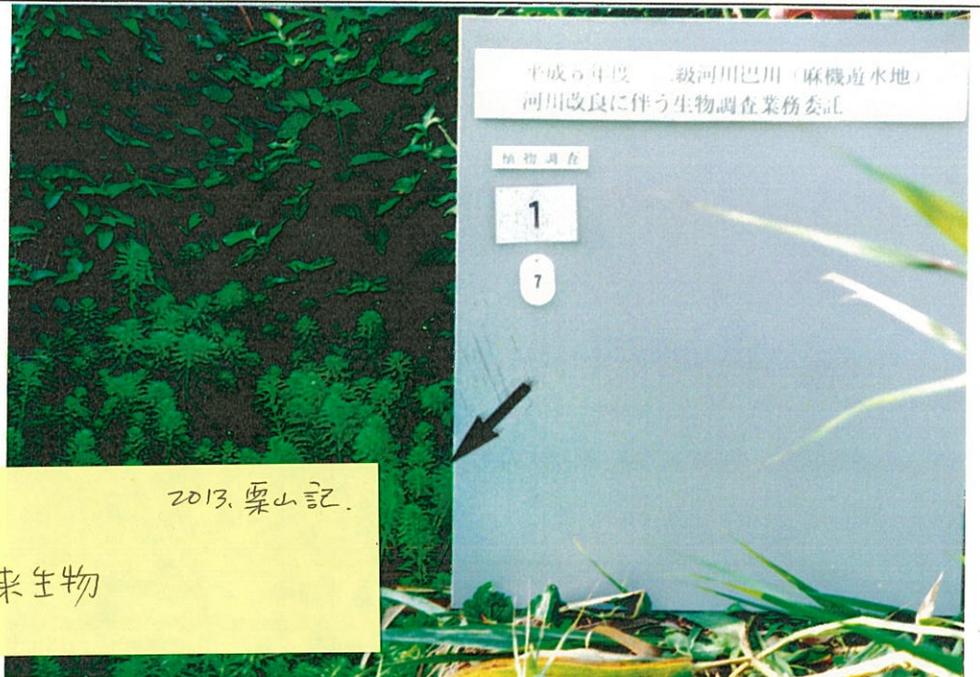


No. ①-7

説明

オオフサモ

植物相調査①ポイント内に存在。



オオフサモ
※特定外来生物

2013. 栗山記.

No. 1-8

説明

ヘラオモダカ

植生断面調査1ポイント(A-A')内に存在。



植物調査写真票

<p>No. <u>1-9</u></p> <p>説明</p> <p>ヤナギモ （同定の結果、貴重な種では無い事が判明）</p> <p>植生断面調査1ポイント(A-A')内に存在。</p>	
<p>No. <u>②-10</u></p> <p>説明</p> <p>タカイ</p> <p>植物相調査②ポイント内に存在。</p>	
<p>No. <u>②-11</u></p> <p>説明</p> <p>オギノツメ</p> <p>植物相調査②ポイント内に存在。</p>	

植物調査写真票

No. 12

説明
ホッスモ



No. 12

説明
ホッスモ



訂正 オトリケモ 2013 栗山記
同定 角野康郎氏 (神戸大学)

No. 13

説明
キクモ



植物調査写真票

No. 13

説明
キクモ



No. ③-14

説明
タコノアシ(群落
絶滅危急種)
植物相調査③ポイント内に存在。



No. ③-15

説明
オガルカヤ
(同定の結果、スズメノヒエと判明)
植物相調査③ポイント内に存在。



No. (1) - 16

説明

コツブヌマハリイ

組成調査コードラ
ートNo. 1内に存在。



No. (1) - 16

説明

コツブヌマハリイ

組成調査コードラ
ートNo. 1内に存在。



No. 17

説明

オギノツメ



No. 18

説明

ヒルムシロ



No. 19

説明

イトモ



訂正

ツツイトモ

同定 角野康郎氏 (神戸大)

2013. 栗山記

No. 20

説明

ミズアオイ
(絶滅危急種)



No. 21

説明

ミズアオイ
(絶滅危急種)



植物調査写真票

調査日
平成8年10月6日

No. ①-1

写真標題
特定種
(他の場所では少なくなっている植物)

説明

ホソバノヨツバムグラ

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-1

説明

ホソバノヨツバムグラ

植物相調査①ポイント内に存在。

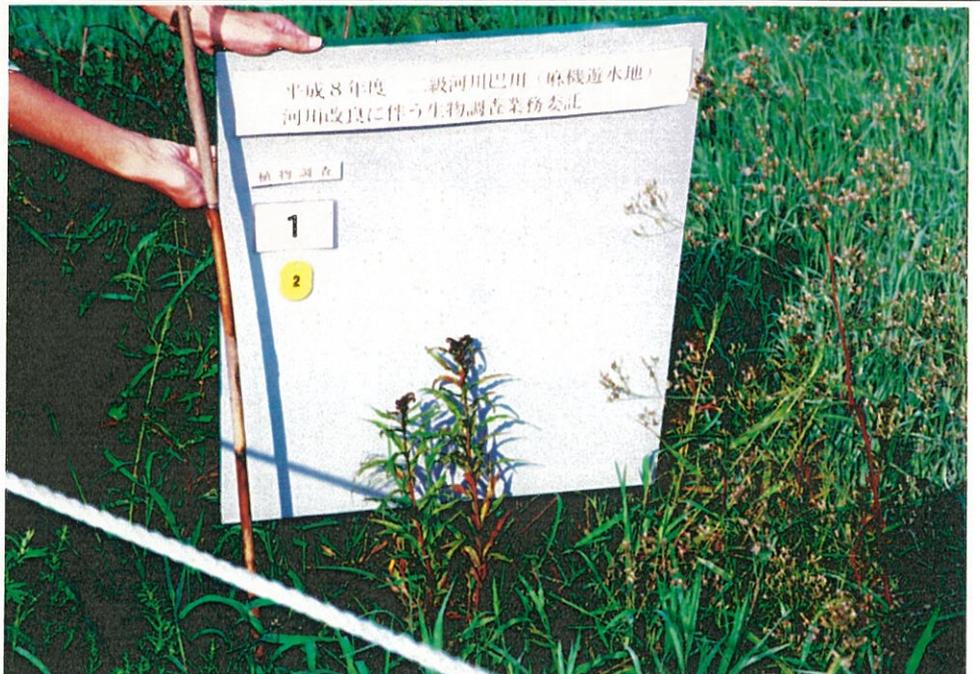


No. ①-2

説明

タコノアシ
(絶滅危急種)

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-2

説明

タコノアシ
(絶滅危急種)

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-3

説明

ミズアオイ
(絶滅危急種)

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-3

説明

ミズアオイ
(絶滅危急種)

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-4

説明

クワイ

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-4

説明

クワイ

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-5

説明

サクラタデ

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-5

説明

サクラタデ

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-6

説明

ミゾコウジュ
(絶滅危急種)

植物相調査①ポイント内に存在。

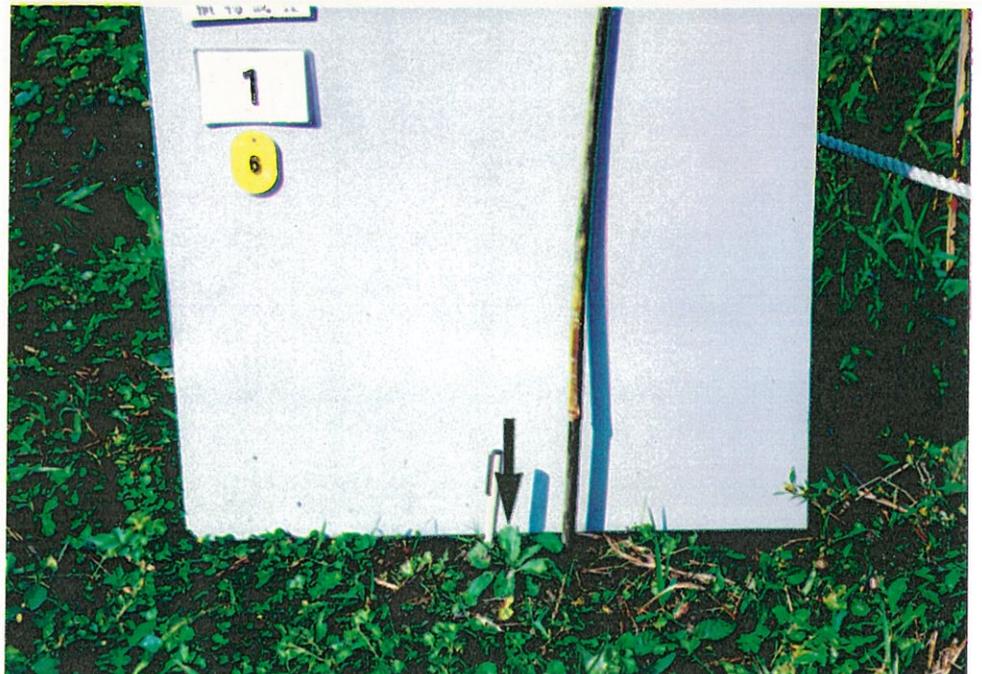


No. ①-6

説明

ミゾコウジュ
(絶滅危急種)

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ①-7

説明

ヌカボタデ

植物相調査①ポイント内に存在。

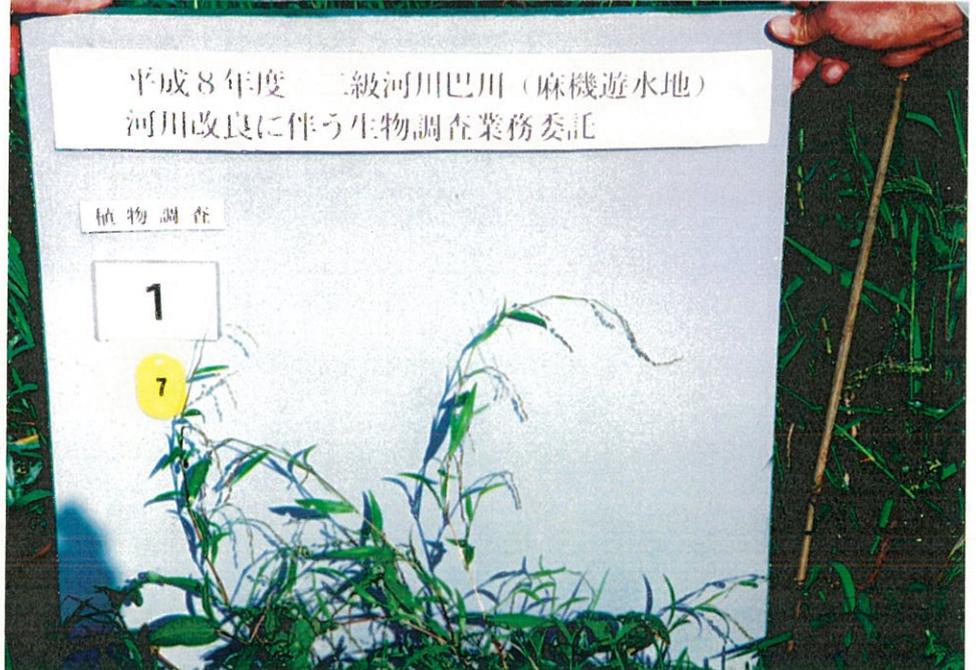


No. ①-7

説明

ヌカボタデ

植物相調査①ポイント内に存在。



No. ②-8

説明

オギノツメ

植物相調査②ポイント内に存在。



No. ②-8

説明

オギノツメ

植物相調査②ポイント内に存在。



No. ②-9

説明

タカイ

植物相調査②ポイント内に存在。



訂正 2013 栗山記
 コゴメイ (外来種)
 同定 勝山輝男氏 (神奈川生命の星...)

No. ②-9

説明

タカイ

植物相調査②ポイント内に存在。



No. ③-10

説明

タコノアシ
(絶滅危急種)

植物相調査③ポイント付近に存在。



No. ③-10

説明

タコノアシ
(絶滅危急種)

植物相調査③ポイント付近に存在。



No.③-11,③-12

説明

③-11
コツブヌマハリイ

③-12
ヒロハイヌノヒゲ

植物相調査③ポイント付近に存在。
(コドラートNo. 1
ポイント横)



No.③-11,③-12

説明

③-11
コツブヌマハリイ

植物相調査③ポイント付近に存在。
(コドラートNo.1
ポイント横)



No.③-11,③-12

説明

③-12
ヒロハイヌノヒゲ

植物相調査③ポイント付近に存在。
(コドラートNo.1
ポイント横)



No. ③-13

説明

シソクサ

植物相調査③ポイント付近に存在。
(コドラートNo.1
ポイント横)



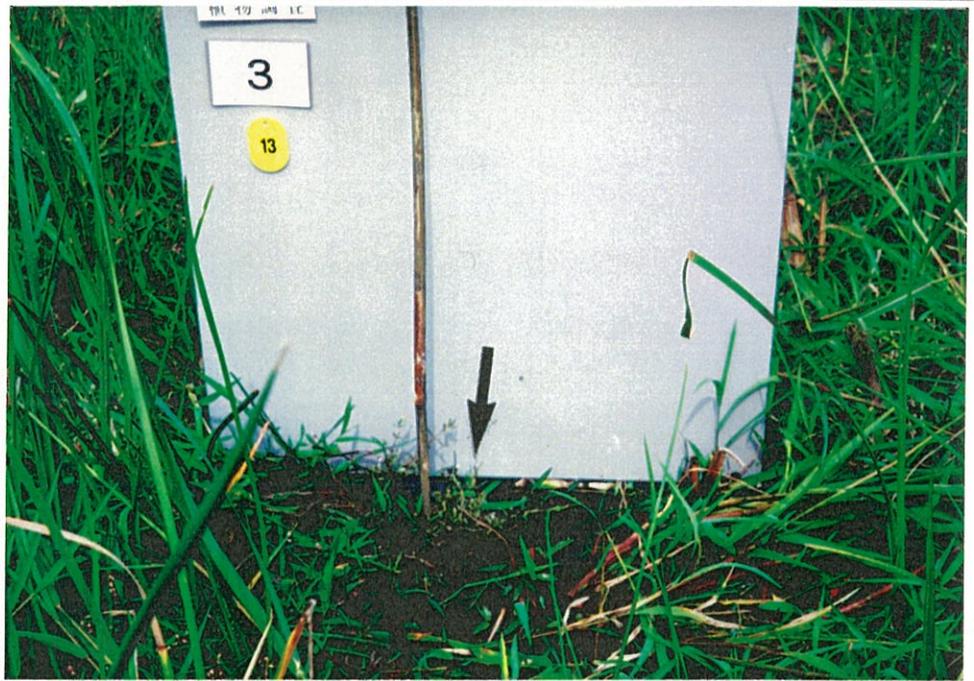
植物調査写真票

No. ③-13

説明

シソクサ

植物相調査③ポイント付近に存在。
(コドラートNo.1ポイント横)



No. ③-14

説明

ホソバノウナギツカミ

植物相調査③ポイント付近に存在。



No. ③-14

説明

ホソバノウナギツカミ

植物相調査③ポイント付近に存在。



No. ④-15

説明

ヒメサルダヒコ

植物相調査④ポイント内に存在。



No. ④-15

説明

ヒメサルダヒコ

植物相調査④ポイント内に存在。



調査日
平成8年10月10日

No. 16、17

説明

16

ミクリ (左)
(絶滅危急種)

17

タコノアシ (右)
(絶滅危急種)



No. 16、17

説明

16

ミクリ (左)
(絶滅危急種)

17

タコノアシ (右)
(絶滅危急種)

